



# 滋賀県立大学 2019年度

## 講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

# 目 次

1110121	英語 A (活性化コース) (人文)	渡 寛法	前期	...	1
1110122	英語 B (活性化コース) (人文)	渡 寛法	後期	...	3
1110131	英語 A (活性化コース) (人文)	香山 恵美	前期	...	5
1110132	英語 B (活性化コース) (人文)	香山 恵美	後期	...	7
1110141	英語 A (活性化コース) (人文)	佐久間 思帆	前期	...	9
1110142	英語 B (活性化コース) (人文)	佐久間 思帆	後期	...	11
1110151	英語 A (活性化コース) (人文)	西澤 裕一	前期	...	13
1110152	英語 B (活性化コース) (人文)	西澤 裕一	後期	...	15
1110161	英語 A (活性化コース) (人文)	関 初海	前期	...	17
1110162	英語 B (活性化コース) (人文)	関 初海	後期	...	19
1110331	英語 A (応用コース) (人文)	Graham Jones	前期	...	21
1110332	英語 B (応用コース) (人文)	Graham Jones	後期	...	23
1110341	英語 A (応用コース) (人文)	齊藤 倫子	前期	...	25
1110342	英語 B (応用コース) (人文)	齊藤 倫子	後期	...	27
1110351	英語 A (応用コース) (人文)	Ashley Stevens	前期	...	29
1110352	英語 B (応用コース) (人文)	Ashley Stevens	後期	...	31
1110361	英語 A (応用コース) (人文)	Gordon Maclaren	前期	...	33
1110362	英語 B (応用コース) (人文)	Gordon Maclaren	後期	...	35
1110371	英語 A (応用コース) (人文)	Karl Hedberg	前期	...	37
1110372	英語 B (応用コース) (人文)	Karl Hedberg	後期	...	39
1110531	英語 A (充実コース) (人文)	西澤 裕一	前期	...	41
1110532	英語 B (充実コース) (人文)	西澤 裕一	後期	...	43
1110541	英語 A (充実コース) (人文)	真田 満	前期	...	45
1110542	英語 B (充実コース) (人文)	真田 満	後期	...	47
1110551	英語 A (充実コース) (人文)	Armando Duarte	前期	...	49
1110552	英語 B (充実コース) (人文)	坂本 輝世	後期	...	51
1110561	英語 A (充実コース) (人文)	佐久間 思帆	前期	...	53
1110562	英語 B (充実コース) (人文)	佐久間 思帆	後期	...	55
1110571	英語 A (充実コース) (人文)	Graham Jones	前期	...	57
1110572	英語 B (充実コース) (人文)	Graham Jones	後期	...	59
1110741	英語 A (展開コース) (人文)	神田 眞喜子	前期	...	61
1110742	英語 B (展開コース) (人文)	神田 眞喜子	後期	...	63
1110751	英語 A (展開コース) (人文)	渡 寛法	前期	...	65
1110752	英語 B (展開コース) (人文)	渡 寛法	後期	...	67
1110761	英語 A (展開コース) (人文)	菰田 真由美	前期	...	69
1110762	英語 B (展開コース) (人文)	菰田 真由美	後期	...	71
1110771	英語 A (展開コース) (人文)	渡 寛法	前期	...	73
1110772	英語 B (展開コース) (人文)	渡 寛法	後期	...	75
1110781	英語 A (展開コース) (人文)	坂本 輝世	前期	...	77
1110782	英語 B (展開コース) (人文)	坂本 輝世	後期	...	79
1130090	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文a)	山本 洋紀	前期	...	81
1130100	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文b)	亀田 彰喜	前期	...	83
1130110	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文c)	山本 洋紀	前期	...	85
1130120	情報リテラシー (情報倫理を含む) (人文d)	山本 洋紀	前期	...	87
1130200	情報科学概論 (人文b) 亀田 彰喜	後期	...	89	
1130210	情報科学概論 (人文a) 山本 洋紀	後期	...	91	
1130220	情報科学概論 (人文c) 山本 洋紀	後期	...	93	
1130230	情報科学概論 (人文d) 亀田 彰喜	後期	...	95	
1150360	人間探求学 (生活デザイン) 学科教員	前期	...	97	
1150451	川の未来学 村上 修一	前期	...	99	
1150460	比較住居論 藤木 庸介	前期	...	101	
1150560	Model United States of America Benjamin John McCracken	前期	...	103	
1150570	Model United Nations Benjamin John McCracken	後期	...	105	
1201270	建築法規 戸川 勝紀	後期集中	...	107	
1400070	一般構造 佐々木 一泰	前期	...	109	
1400080	インテリア計画論 宮本 雅子	前期	...	111	
1400088	インテリアコーディネーター概説 藤木 庸介	前期	...	113	
1400340	環琵琶湖文化論実習 (生活デザイン) 学科教員	通年	...	115	
1400430	基礎設計製図 藤木 庸介	後期	...	117	
1400440	基礎服飾デザイン 横田 尚美	後期	...	119	
1400570	近代デザイン史 面矢 慎介	前期	...	121	
1400580	空間デザイン論 佐々木 一泰	後期	...	123	
1400705	建築計画論 藤木 庸介	後期	...	125	
1400730	考現学概論 面矢 慎介	前期	...	127	
1400820	構造計画 (生活デザイン) 渡邊 須美樹	後期	...	129	
1400830	構造力学 (生活デザイン) 渡邊 須美樹	後期	...	131	
1400910	サステナブルデザイン論 南 政宏	前期	...	133	
1400930	色彩学 宮本 雅子	前期	...	135	
1400940	色彩学演習 宮本 雅子	後期	...	137	
1401130	社会調査方法論 大野 光明	後期	...	139	
1401140	社会調査論 中井 治郎	前期	...	141	
1401210	住環境設計演習 佐々木 一泰	前期	...	143	
1401220	住環境設計演習 宮本 雅子	後期	...	145	
1401230	住環境設計演習 佐々木 一泰	前期	...	147	
1401250	住環境論 宮本 雅子	後期	...	149	

1401350	消費科学	松永 伸洋	後期	・・・	151
1401360	消費科学	松永 伸洋	前期前半	・・・	153
1401370	消費者行動論	山田 歩	前期	・・・	155
1401380	消費生活論	小牧 美江	後期	・・・	157
1401540	心理学基礎	後藤 崇志	前期	・・・	159
1401560	生活経営論	山田 歩	後期	・・・	161
1401580	生活造形基礎演習	南 政宏	前期	・・・	163
1401620	生活素材論	三宅 肇	前期	・・・	165
1401630	生活デザイン学外演習	学科教員	通年集中	・・・	167
1401635	木匠塾(生活デザイン)	佐々木 一泰	通年集中	・・・	169
1401640	生活デザイン論	学科教員	後期	・・・	171
1401690	生活デザイン論演習	学科教員	前期	・・・	173
1401701	生活デザイン論演習	学科教員	後期	・・・	175
1401802	卒業研究・制作/論文	(生活デザイン)	学科教員 前期研究	・・・	177
1401805	卒業研究・制作/論文	(生活デザイン)	学科教員 後期研究	・・・	179
1402206	テキスタイルデザイン	内丸 もと子	後期	・・・	181
1402260	デッサン法	富原 仁美	前期	・・・	183
1402290	道具計画論	印南 比呂志	前期	・・・	185
1402300	道具デザイン演習	南 政宏	前期	・・・	187
1402310	道具デザイン演習	印南 比呂志	後期	・・・	189
1402320	道具デザイン演習	面矢 慎介	前期	・・・	191
1402331	デジタルデザイン演習A	印南 比呂志	前期	・・・	193
1402332	デジタルデザイン演習B	佐々木 一泰	後期	・・・	195
1402340	道具デザイン史/	面矢 慎介	後期	・・・	197
1402350	道具デザイン論/	印南 比呂志	後期	・・・	199
1402360	統計学基礎	澤山 郁夫	前期	・・・	201
1402510	人間工学	中村 孝之	後期	・・・	203
1402520	人間工学実習	森下 あおい	前期	・・・	205
1402540	人間文化論A	藤木 庸介	前期	・・・	207
1402550	人間文化論B	亀井 若菜	後期	・・・	209
1402560	人間文化論C	宮本 雅子	後期	・・・	211
1402630	比較衣装論	横田 尚美	前期	・・・	213
1402680	比較道具論	面矢 慎介	後期	・・・	215
1402780	服飾文化論	横田 尚美	前期	・・・	217
1402800	服飾心理学	横田 尚美	後期	・・・	219
1402830	服飾造形論	森下 あおい	前期	・・・	221
1402860	服飾デザイン演習	森下 あおい	前期	・・・	223
1402870	服飾デザイン演習	横田 尚美	後期	・・・	225
1402880	服飾デザイン演習	森下 あおい	前期	・・・	227
1402900	服飾デザイン論	森下 あおい	後期	・・・	229
1402910	プレゼンテーション技法	印南 比呂志	後期	・・・	231
1402999	マーケティングリサーチ演習	山田 歩	前期	・・・	233
1403000	マーケティング論	山田 歩	後期	・・・	235
1600471	生活工学(情報処理を含む)	堀江 健二郎	前期	・・・	237
1600800	食物学(調理実習を含む)	福渡 努	前期集中	・・・	239

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

#### 授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ (スマートフォンでも計測機能があればOK) を持ってきてください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文 )						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

**担当者から一言**

英語学習の基本は音読です。まずはTOEICレベルの英文をスラスラ声に出して読めるようにトレーニングしていきましょう！

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

#### 授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	香山 恵美
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

#### 授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキヤニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

#### 到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。  
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み  
30% 授業内の課題  
40% 到達度確認テスト (2回)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	香山 恵美
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

#### 授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキヤニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

#### 到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。  
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み  
30% 授業内の課題  
40% 到達度確認テスト (2回)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

#### 授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。  
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。  
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。  
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

#### 到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)  
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

必ず購入のこと。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

#### 前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

#### 履修資格



講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

#### 授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。  
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。  
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。  
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

#### 到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)  
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

前期と教科書は同じです。必ず購入のこと。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

#### 前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

#### 履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	前期の復習	基礎事項の確認
第2回	Unit7	Part1, 4, 5, 7
第3回	Unit7	Part2, 3, 6
第4回	Unit8	Part1, 4, 5, 7
第5回	Unit8	Part2, 3, 6
第6回	Unit9	Part1, 4, 5, 7
第7回	Unit9	Part2, 3, 6
第8回	Unit10	Part1, 4, 5, 7
第9回	Unit10	Part2, 3, 6
第10回	Unit11	Part1, 4, 5, 7
第11回	Unit11	Part2, 3, 6
第12回	Unit12	Part1, 4, 5, 7
第13回	Unit12	Part2, 3, 6
第14回	暗唱テスト	Unit7～12の復習
第15回	暗唱テスト	Unit7～12の復習

担当者から一言

授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為(私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等)をする者の受講は認めません。

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

#### 授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

#### 到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度 (授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど)

半期で4回以上の欠席は評価をしません。  
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。  
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	こまったカタカナ英語 つうじの英語に大変身!	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736
3	ローマの休日		電波実験社	9784864900133

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格



講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/映画 (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

#### 授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

#### 到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度 (授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど)

半期で4回以上の欠席は評価をしません。  
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。  
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身!	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736
3	ローマの休日		電波実験社	9784864900133

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/映画 (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	関 初海
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

#### 授業概要

TOEIC形式の問題を正確に解く力を身につける。  
TOEICのリスニング音声や読解問題を活用し、ライティング・スピーキング能力といった、英語発信能力をきたえる。

#### 到達目標

- (1) TOEICの語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2), (3), (4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について毎回の授業冒頭での小テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(20%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口 優美子他	金星堂	9784764740891
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース)(人文)						担当教員	関 初海
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーションとUnit 1	授業の進め方についての説明 Unit 1 Travel
第2回	Unit 1(2)	Unit 1 Travel (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第3回	Unit 2(1)	Unit 2 Dining Out (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第4回	Unit 2(2)	Unit 2 Dining Out (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第5回	Unit 3(1)	Unit 3 Media (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第6回	Unit 3(2)	Unit 3 Media (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第7回	Unit 4(1)	Unit 4 Entertainment (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第8回	Unit 4(2)	Unit 4 Entertainment (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第9回	Unit 5(1)	Unit 5 Purchasing (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第10回	Unit 5(2)	Unit 5 Purchasing (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第11回	Unit 6(1)	Unit 6 Clients (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第12回	Unit 6(2)	Unit 6 Clients (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第13回	Unit 7(1)	Unit 7 Recruiting (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第14回	Unit 7(2)	Unit 7 Recruiting (単語小テスト、TOEIC問題演習、ライティング・スピーキング活動)
第15回	総復習	前期の総まとめ
担当者から一言		

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	関 初海
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

#### 授業概要

TOEIC形式の問題を正確に解く力を身につける。  
TOEICのリスニング音声や読解問題を活用し、ライティング・スピーキング能力といった、英語発信能力をきたえる。

#### 到達目標

- (1) TOEICの語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2), (3), (4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について毎回の授業冒頭での小テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(20%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口 優美子他	金星堂	9784764740891
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (人文 )						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

#### 授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) start thinking about English learning as a lifelong activity.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

#### 授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (人文 )					担当教員	Graham Jones
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習
ナンバリング番号	101ENG103						

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	Welcome to the class
第2回	Unit 1	Lifestyles
第3回	Unit 1	Lifestyles
第4回	Unit 2	Leisure
第5回	Unit 2	Leisure
第6回	Unit 3	Getting along
第7回	Unit 3	Getting along
第8回	Mid-Term Test	One-page essay
第9回	Unit 4	Interests
第10回	Unit 4	Interests
第11回	Unit 5	Telling a story
第12回	Unit 5	Telling a story
第13回	Unit 6	Celebrations
第14回	Unit 6	Celebrations
第15回	Review	Looking ahead

担当者から一言
---------

講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

#### 授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) continue thinking about English learning as a lifelong activity.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

#### 授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (人文 )						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Homework: There will be speaking and writing homework in this class.

Final Presentation: Students read aloud 1 of their 8 essays to the class.

#### 到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	25	Mid-term Speaking test: Each Speaking Objective - 25% each Mid-term Writing test: Writing Objectives 1 & 3 - 25% each
上記以外	50	Homework - There will be writing and speaking homework in this class.

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Homework: There will be speaking and writing homework in this class.

Final Presentation: Students read aloud 1 of their 8 essays to the class.

#### 到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Final Presentation: Students will give a presentation about their success from this year academic year and their goals for the next year.
レポート課題	25	Homework: There will be writing and speaking homework on various topics.
上記以外	50	Final Presentation: Students will give a presentation about their success from this year academic year and their goals for the next year.

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Homework: Begin writing midterm paper.
第2回	Week 2	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第3回	Week 3	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第4回	Week 4	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第5回	Week 5	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第6回	Week 6	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第7回	Week 7	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第8回	Week 8	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第9回	Week 9	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第10回	Week 10	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第11回	Week 11	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第12回	Week 12	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第13回	Week 13	Final presentation preparation. Homework: Work on final presentation.
第14回	Week 14	Final presentation preparation and practice presentations. Homework: Continue working on final.
第15回	Week 15	Final presentations.

担当者から一言

It's OK to make mistakes as long as you try your best. A word on plagiarism (盗作): do your own original work on all assignments. Do not copy from the internet. Do not copy from other students. Students caught engaging in plagiarism will be subject to discipline

講義名	英語 A (応用コース) (人文 )						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (人文 )						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric. For homework: Students start to write a one-page story or essay.
第2回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher checks students have begun their writing.
第3回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher checks students have begun their writing.
第4回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第5回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第6回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher corrects pronunciation of students' writing.
第7回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues to correct pronunciation.
第8回	Shopping	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues to correct pronunciation.
第9回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their stories/essays to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第10回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第11回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第12回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第13回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.
担当者から一言		

講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric. For homework: Students start to write a one-page story or essay.
第2回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live. Teacher checks students have begun their writing.
第3回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live. Teacher checks students have begun their writing.
第4回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第5回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第6回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies. Teacher corrects pronunciation of students' writing.
第7回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies. Teacher corrects pronunciation of students' writing.
第8回	Life experiences	Focusing on the functional language used in real life situations when the things we have done. Teacher continues to correct pronunciation.
第9回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their stories/essays to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第10回	Jobs and the workpplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the workpplace.
第11回	Jobs and the workplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the workpplace.
第12回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on superlatives.
第13回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on superlatives.
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.

担当者から一言

講義名	英語 A (応用コース) (人文 )						担当教員	Gordon Maclaren
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

#### 授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3rd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times. In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the instructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

#### 到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

#### 授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total) Pairs rewrite 75-90% of a 'new' scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

--

#### 履修資格

--

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Gordon MacLaren
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	INTRODUCTION	Class & Pair reading of Luggage Mix-Up; Accusation and Apology
第2回	Patching Things Up	Offering Help and Getting to Know a Stranger [II] 第2回-13回 PAIR-ACT DRAMA SCENE
第3回	Realization Of & Panic Over a Mistake	Calming Someone Down [III]
第4回	Calling For Assistance	Giving Information over the Phone [IV]
第5回	Upholding Household Rules	Receiving and Confirming Good News [V]
第6回	Getting Over Jet Lag	Talking About Sleepiness and One's Job [VI]
第7回	A 'Thank You' Coffee	Expressing Gratitude and Setting Up a Date [VII+VIII]
第8回	Sharing and Eliciting Wonderful News	Warning Over High Expectations [IX]
第9回	Relating a Tough Situation	Asking About Job Qualifications [X]
第10回	Returning to the Beginning	The Luggage Mix-Up Conflict [I]
第11回	First Date	Banter, Sharing Likes, Dislikes and Goals in Common [XI]
第12回	Under the Table	Sharing Suspicions and Teasing About Anxieties [XII]
第13回	Stand-In	Subbing For Someone ill at Work [XIII]; NEW SCENE BRAINSTORMING
第14回	COMPLETE FINAL VERSION & ACT OUT (in pairs)	THE 75-90% ORIGINAL SCENE YOU WROTE, BASED on SCENES VII and VIII joined together.
第15回	COMPLETE FINAL VERSION & ACT OUT (in pairs)	THE 75-90% ORIGINAL SCENE YOU WROTE, BASED on SCENES VII and VIII joined together.
担当者から一言		

講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	Gordon Maclaren
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

#### 授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

#### 到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

#### 授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (人文 )						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking  
25% Mid-term Writing test.  
25% Vocabulary Quizzes

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English Publications	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (人文 )					担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習
ナンバリング番号	101ENG103						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Getting to Know You	Making friends and exchanging (or not exchanging) personal information.
第3回	Getting to Know You	Learning to learn 1, going beyond first introductions, Quiz 1.
第4回	Airports and Hotels	Quiz 2, Talking about travel, memory game 1, song 1.
第5回	Airports and Hotels	Talking about travel and learning to learn 2.
第6回	Getting Around Town	Quiz 3, Describing your hometown and game 2.
第7回	Getting Around Town	Getting to know Shiga, song 2.
第8回	Food and Restaurants	Quiz 4, Food and Restaurants
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	Food and Restaurants	Comparing Japanese / American food.
第11回	Shopping	Quiz 5, Talk about shopping
第12回	Shopping	Talk about shopping, song 3.
第13回	At the doctor's	Quiz 6, Talk about illnesses and injuries
第14回	Watching movies	Talk about films and TV shows
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	
担当者から一言		

講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking  
25% Mid-term Writing test.  
25% Vocabulary Quizzes

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文 )						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Memory and the Past	Talking about your weekend.
第3回	Memory and the Past	Quiz 1, Asking about the past.
第4回	The Real You	Quiz 2, Talking about your good and bad points, song 1.
第5回	The Real You	Your horoscope and learning to learn 2.
第6回	My Favorites	Quiz 3, Talking about books, movies, and music.
第7回	My Favorites	Which do you prefer...?, song 2.
第8回	Let's Eat!	Quiz 4, Talking about food and cuisine.
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	Let's Eat!	Tastes and textures.
第11回	Experiences	Quiz 5, Talking about some of you good and bad experiences.
第12回	Experiences	Have you...?, song 3.
第13回	Future Plans	Quiz 6, Can you see your future?
第14回	Future Plans	Hopes and dreams for the future.
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	

担当者から一言

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

#### 授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらにそれらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

#### 到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含まれます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	TOEICテスト英単語Core Core 1200	小川慶	テイエス企画	488784204x
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。  
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につ

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

#### 授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

#### 到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含まれます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	TOEICテスト英単語Core Core 1200	小川慶	テイエス企画	488784204x
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。  
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につ

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

#### 授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において、英語を音読し、発言することで弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

#### 到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。  
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。  
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。  
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。  
 正しい発音を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 に関し、2回小テストを行い、評価の40%とする。 到達目標 と に関しては、授業での発表をもとに、評価の20%とする。この20%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。  
 30分以上の遅刻は認めない。  
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

#### 授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。  
 TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答していただくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	World English 2	Kristin L. Johannsen他	Cengage	9781285848709
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

#### 前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

#### 履修資格





講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

#### 授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。また、正確な英文法に注意しながら、論理的な英語を書く力を養う。英語を書くだけでなく、自分の考えを口頭で発表し、他学生と議論する能力も培う。

#### 到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。  
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。  
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。  
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。  
 正しい発音を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 に関し、2回小テストを行い、評価の40%とする。 到達目標 と に関しては、授業での発表をもとに、評価の20%とする。この20%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。  
 30分以上の遅刻は認めない。  
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

#### 授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。  
 TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答していただくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	World English 2	Kristin L. Johannsen他	Cengage	9781285848709
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

#### 前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

#### 履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)							担当教員	真田 満
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction Unit 7, part 1	英語IIIAで学んだことの復習 リーディング・パッセージの読解
第2回	Unit 7, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第3回	Unit 8, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第4回	Unit 8, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第5回	Unit 9, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第6回	Unit 9, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第7回	1st quiz TED Talks	第1回小テスト TED教材を使ったリスニング練習
第8回	Unit 10, part 1	小テストの講評 宿題の解答と解説
第9回	Unit 10, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第10回	Unit 11, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第11回	Unit 11, part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第12回	Unit 12, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解
第13回	2nd Quiz TED Talks	第2回小テスト TED教材を使ったリスニング練習
第14回	Unit 12, part 2	小テストの講評 宿題の解答と解説
第15回	Recapitulation	英語IIIBで学んだことのまとめ

担当者から一言

英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語 A (充実コース) (人文 )						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

#### 授業概要

This 4 skills class will introduce various topics about culture and communication every week. Students will listen to conversations, watch videos, and read and write about different topics. Students will be graded on their speaking and writing skills.

#### 到達目標

Every week we will try to complete 1 chapter in the textbook. If we don't finish in class, students should complete those activities as homework.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	Attendance - Please come to class every week. 1 absence = -2% from the final score.
レポート課題	35%	Writing Homework - Students will respond to some question related to the class topic.
上記以外	35%	Speaking Homework - Students will record a speech related to the class topic.

Please submit your homework on time. Any late homework will receive a penalty of 15 points.

#### 授業外学習

This class does not have a midterm or a final examination.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Finding Connections	Todd Rucynski		978-476-474-0761
2				
3				

Please buy the textbook as soon as possible.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

<b>講義名</b>	英語 A (充実コース) (人文)						<b>担当教員</b>	Armando Duarte
<b>講義コード</b>	1110551	<b>単位数</b>	1	<b>開講期</b>	前期	<b>授業種別</b>	演習	
<b>ナンバリング番号</b>	201ENG201							

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Introduce class topics - What made you who you are?
第2回	Week 2	What is good about you?
第3回	Week 3	Can you tell me about music?
第4回	Week 4	When and who did you ask for advice?
第5回	Week 5	Are you easy to live with?
第6回	Week 6	What is your type?
第7回	Week 7	How do you give and receive compliments?
第8回	Week 8	"Do you like me?!"
第9回	Week 9	Can you guess?
第10回	Week 10	Can we work it out?
第11回	Week 11	How do you describe events in detail?
第12回	Week 12	What are you into?
第13回	Week 13	How do you help a friend find the way?
第14回	Week 14	What are you talking about?
第15回	Week 15	Can you tell me a story?

**担当者から一言**

Please come to my office or email me any time to ask a question! My door is always open.

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

#### 授業概要

この授業は、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を正確に読み取る力(リーディング)、理解し考えたことを英語で表現する力(ライティング)、口頭での英語発表のやり取りを行う力(スピーキング+リスニング)を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

#### 到達目標

- (1) 自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- (2) 口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- (3) 自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を正確に読み取る力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(2)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(1)(2)(3)について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価(50%)

正当な理由がなく全クラスの1/3以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

#### 授業外学習

このクラスは、授業外での学習(課題提出)の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロジェクト発信型英語1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書か電子辞書を用意してください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (充実コース)(人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション/Unit 1	授業の進め方・評価方法の説明、English activities
第2回	Unit 2 Self-appeal	テキスト内容の確認と発展、English activities
第3回	Unit 3 What is research?	テキスト内容の確認と発展、English activities
第4回	Unit 4 Outline of research	テキスト内容の確認と発展、English activities
第5回	Unit 5 Organizing ideas and data	テキスト内容の確認と発展、English activities
第6回	Unit 6 Research methods	テキスト内容の確認と発展、English activities
第7回	Unit 7 Writing a script	テキスト内容の確認と発展、English activities
第8回	Unit 8 Mini-presentation (1)	プロジェクト中間発表
第9回	Unit 9 Mini-presentation (2)	プロジェクト中間発表
第10回	Unit 10 Responding to questions (1)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第11回	Unit 11 Responding to questions (2)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第12回	Unit 12 Written presentation	テキスト内容の確認と発展、English activities
第13回	Unit 13 Final mini-presentation (1)	プロジェクト最終発表
第14回	Unit 14 Final mini-presentation (2)	プロジェクト最終発表
第15回	Unit 15 Final mini-presentation (3)	プロジェクト最終発表

担当者から一言

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

#### 授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。  
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。  
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。  
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

#### 到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)  
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE	番場直之、小山克明	金星堂	978-4-7647-4090-7
2				
3				

必ず購入のこと。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

#### 前提学力等

3回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

#### 履修資格





講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

#### 授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。  
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。  
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。  
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

#### 到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)  
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	978-4-7647-4090-7	番場直之、小山克明	金星堂	978-4-7647-4090-7
2				
3				

前期と教科書は同じです。必ず購入のこと。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

#### 前提学力等

3回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

#### 履修資格



講義名	英語 A (充実コース) (人文 )						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

#### 授業概要

This social studies themed course will build on the speaking, listening, writing and reading skills of students, and further develop their vocabulary. In class, the students will work in pairs and small groups. Students will also practise a number of self-study techniques.

#### 到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.  
 Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.  
 Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term listening/speaking test
レポート課題	50	Mid-term reading/writing test
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	978-1-61352-519-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (充実コース) (人文 )						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

#### 授業概要

This social studies themed course will build on the speaking, listening, writing and reading skills of students, and further develop their vocabulary. In class, the students will work in pairs and small groups. Students will also practise a number of self-study techniques.

#### 到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.  
 Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.  
 Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term listening/speaking test
レポート課題	50	Mid-term reading/writing test
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	978-1-61352-519-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	神田 眞喜子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

#### 授業概要

本授業では、4技能を統合的に活用し、特にライティング能力の向上に重点を置きます。パラグラフライティングから論理的な文章が書けることを目標とします。パラグラフライティングに必要な文法や表現を学習します。また、リスニングと音読を通してパラグラフの構成についても学習します。ペアワークやグループワークを通してインプットからアウトプットにつなげる活動もします。

#### 到達目標

- (1) 論理的なパラグラフを書くことができる。
- (2) 語彙力や文法力を向上させる。
- (3) リスニング力を向上させる。
- (4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)(2)(3)について、期末試験で40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(1)(2)について、エッセーテストを2回行い、40%として評価。 到達目標(2)(3)(4)について、指示した活動や課題で20%として評価。

#### 授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Smart Writing	Miyako Nakaya他	SEIBIDO	978-4-7919-6032-3
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。辞書を必ず持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	神田 真喜子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業概要や方針についての説明。受講者同士の自己紹介。テキストを用いて、授業の流れや予習範囲の確認。
第2回	Chapter 1 What is a Paragraph	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第3回	Chapter 1 What is a Paragraph	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第4回	Chapter 2 Narration	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第5回	Chapter 2 Narration	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第6回	Chapter 3 Process	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第7回	Peer review	受講者が書いたエッセーをレビューする。
第8回	エッセーを書く (1)	与えられたテーマに関して、Introduction, Body, Conclusionの流れにしたがってエッセーを書く。
第9回	Chapter 4 Description of Feelings	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第10回	Chapter 4 Description of Feelings	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第11回	Chapter 5 Description of People	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第12回	Chapter 6 Description of Places & Locations	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第13回	Chapter 7 Definition	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第14回	Peer review	受講者が書いたエッセーをレビューする。
第15回	エッセーを書く (2)	与えられたテーマに関して、Introduction, Body, Conclusionの流れにしたがってエッセーを書く。
担当者から一言		

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	神田 眞喜子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

#### 授業概要

本授業では、4技能を統合的に活用し、特にライティング能力の向上に重点を置きます。パラグラフライティングから論理的な文章が書けることを目標とします。パラグラフライティングに必要な文法や表現を学習します。また、リスニングと音読を通してパラグラフの構成についても学習します。ペアワークやグループワークを通してインプットからアウトプットにつなげる活動もします。

#### 到達目標

- (1) 論理的なパラグラフを書くことができる。
- (2) 語彙力や文法力を向上させる。
- (3) リスニング力を向上させる。
- (4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標 (1) (2) (3) について、期末試験で30%として評価。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標 (1) (2) について、エッセーテストを2回行い、40%として評価。 到達目標 (2) (3) (4) について、指示した活動や課題で20%として評価。 到達目標 (2) (3) についてTOEICのスコアで10%として評価。

#### 授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Smart Writing	Miyako Nakaya他	SEIBIDO	978-4-7919-6032-3
2				
3				

辞書を必ず持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	神田 真喜子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業概要、方針、課題についての説明。
第2回	Chapter 8 Comparison & Contrast	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第3回	Chapter 8 Comparison & Contrast	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第4回	Chapter 9 Cause & Effect	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第5回	Chapter 9 Cause & Effect	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第6回	Chapter 10 Problems & Solutions	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第7回	Peer review	受講者が書いたエッセーをレビューする。
第8回	エッセーを書く(1)	与えられたテーマに関して、Introduction, Body, Conclusionの流れにしたがってエッセーを書く。
第9回	Chapter 11 Your Opinion - Agree	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第10回	Chapter 12 Your Opinion - Disagree	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第11回	Chapter 13 Data Analysis	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第12回	Chapter 13 Data Analysis	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第13回	Chapter 14 Email Writing	リスニング、音読、ライティング、コミュニケーション活動。
第14回	Peer review	受講者が書いたエッセーをレビューする。
第15回	エッセーを書く(2)	与えられたテーマに関して、Introduction, Body, Conclusionの流れにしたがってエッセーを書く。
担当者から一言		

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の概要説明。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。

担当者から一言

When life gives you lemons, make lemonade! ピンチをチャンスにできるかは自分次第です。置かれた状況でベストを尽くしてください。

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文 )							担当教員	渡 寛法
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り、今学期の目標設定。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。

**担当者から一言**

前期に引き続き、TOEIC公式問題集で12月の試験にむけて腕を磨いていきましょう!千里の道も一歩から!A journey of a thousand miles begins with a single step !!

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

#### 授業概要

この授業では、外国人が実際に体験する日本文化の現地レポートと、様々な国の出身者が自国文化と日本文化の違いを語るディスカッションの映像を見て、世界各国の多様な文化背景を持つスピーカーの考えに触れ、日本文化を再認識し、世界へ向けて英語で発信する力を養う。

#### 到達目標

- (1) 語彙力を増強する。
- (2) 英語母語話者および非母語話者による英語を聞き取り、ペアまたはグループ・ワークによって自分の考えを述べる。
- (3) 日本文化を紹介する映像を視聴し、その内容を理解する。
- (4) 日本事象について英語で発信することができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標(4)については、レポート課題によって評価する
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(30%)によって評価する。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中の携帯電話の使用は認めない。

#### 授業外学習

毎週の授業について、web動画による視聴および音読を行い、復習をすること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Discovering Cool Japan	Akiko Tusuda他	成美堂	978-4-7919-7187-9
2				
3				

英和辞書を持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

#### 授業概要

この授業では、NHK World Japanの海外向けニュース番組NEWSLINEを視聴し、国内のニュースを英語で理解し、さらに発信する力を養成する。

#### 到達目標

- (1)時事問題に関する語彙および身近な日本語に対する英語表現を習得する。
- (2)ニュースを聞いて正しくその内容を理解することができる。
- (3)正しい発音とイントネーションを身に付け、ニュースを音読することができる。
- (4)ニュースの内容について自分の意見を英語で述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(4)については、発表及びワークシートの提出で評価する。
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(20%)によって評価する。さらに後期に受験するTOEICスコア(10%)を組み込む。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中は携帯電話等の通信機器の使用は認めない。また、居眠りや私語、内職等は減点対象となる。

#### 授業外学習

毎週の授業後、各ユニットの映像をオンラインで視聴し、リスニング及びシャドウイング練習を行うこと。さらに、毎週実施する小テストに備えて語彙を覚えること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NHK Newsline2	Tatshuro Yamazaki	金星堂	978-4-7647-4072-3
2				
3				

英和辞書を持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文 )							担当教員	渡 寛法
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り、今学期の目標設定。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。

#### 担当者から一言

前期に引き続き、TOEIC公式問題集で12月の試験にむけて腕を磨いていきましょう！千里の道も一歩から！A journey of a thousand miles begins with a single step !!

講義名	英語 A (展開コース) (人文 )						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

#### 授業概要

この授業は、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を正確に読み取る力(リーディング)、理解し考えたことを英語で表現する力(ライティング)、口頭での英語発表のやり取りを行う力(スピーキング+リスニング)を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

#### 到達目標

- (1) 自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- (2) 口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- (3) 自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を正確に読み取る力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(2)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(1)(2)(3)について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価(50%)

正当な理由がなく全クラスの1/3以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

#### 授業外学習

このクラスは、授業外での学習(課題提出)の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロジェクト発信型英語1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書か電子辞書を用意してください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

#### 授業概要

この授業は、前期に引き続き、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を精確に読み取る力(リーディング)、理解し考えたことを英語で表現する力(ライティング)、口頭での英語発表のやり取りを行う力(スピーキング+リスニング)を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

#### 到達目標

- (1) 自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- (2) 口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- (3) 自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を精確に読み取る力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、中間および最終発表によって評価(15%) 到達目標(2)について、中間および最終発表によって評価(25%) 到達目標(1)(2)(3)について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価(50%)

正当な理由がなく全クラスの1/3以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

#### 授業外学習

このクラスは、授業外での学習(課題提出)の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロジェクト発信型英語1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書か電子辞書を用意してください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

後期から初めてこのクラスを履修する場合は、前期の内容について説明しますので、テキストのUnit 1~15をよく読んで上で、最初の授業前に面談の予約をしてください。

#### 履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Unit 16 Starting a project	授業の進め方・評価方法の説明、English activities
第2回	Unit 17 Gathering data from interviews	テキスト内容の確認と発展、English activities
第3回	Unit 18 Gathering data from questionnaire	テキスト内容の確認と発展、English activities
第4回	Unit 19 Multimeidia resources (1)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第5回	Unit 20 Multimedia resources (2)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第6回	Unit 21 Mid-term presentation (1)	プロジェクト中間発表
第7回	Unit 22 Mid-term presentation (2)	プロジェクト中間発表
第8回	Unit 23 Paragraph reading (1)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第9回	Unit 24 Paragraph reading (2)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第10回	Unit 25 Summarizing paragraphs (1)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第11回	Unit 26 Summarizing paragraphs (2)	テキスト内容の確認と発展、English activities
第12回	Unit 27 Writing an outline	テキスト内容の確認と発展、English activities
第13回	Unit 28 Final presentation (1)	プロジェクト最終発表
第14回	Unit 29 Final presentation (2)	プロジェクト最終発表
第15回	Unit 30 Final presentation (3)	プロジェクト最終発表
担当者から一言		

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

#### 授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

#### 到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

#### 授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

--

#### 履修資格

--

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)							担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	1011NF102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（1）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（2）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（1）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（2）	書式
第9回	WORDによる文書作成（3）	表
第10回	WORDによる文書作成（4）	図
第11回	Excelによる表計算（1）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（2）	書式
第13回	Excelによる表計算（3）	関数
第14回	Excelによる表計算（4）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成
担当者から一言		

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

#### 授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

#### 到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。  
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

#### 履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	基本構成と操作	コンピュータの基本構成と操作
第2回	アカウントの設定	情報ネットワークの理論とアカウントの設定
第3回	システムの操作	情報システムとOSおよびファイル操作
第4回	情報検索	Webブラウザの操作と情報検索とネットワーク上でのセキュリティ
第5回	情報収集	インターネットによる情報収集とウィルスおよびスパイウェア
第6回	文献情報検索	図書情報検索と論文および著作等の情報検索
第7回	情報倫理	電子メールの利用と情報倫理としてのメールでのマナー
第8回	文書作成	文書作成ソフトによるレポート作成の基本の習得
第9回	レポートの基本	レポートと学术论文の概念と論文作成の基本
第10回	情報収集と加工	レポートと学术论文の書式と情報収集と加工の基本
第11回	画像等の処理	レポートと学术论文の書式と画像等の処理の基本
第12回	統計データ処理	レポートと学术论文の書式と統計データ処理の基本
第13回	論文の作成のまとめ	レポートと学术论文の作成のまとめ
第14回	課題の作成	レポート課題の作成
第15回	課題のまとめ	レポート課題と学术论文発表のまとめ
担当者から一言		

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

#### 授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

#### 到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

#### 授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

#### 授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

#### 到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

#### 授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

--

#### 履修資格

--

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101INF102							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（1）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（2）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（1）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（2）	書式
第9回	WORDによる文書作成（3）	表
第10回	WORDによる文書作成（4）	図
第11回	Excelによる表計算（1）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（2）	書式
第13回	Excelによる表計算（3）	関数
第14回	Excelによる表計算（4）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成
担当者から一言		

講義名	情報科学概論(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

#### 授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

#### 履修資格

講義名	情報科学概論 (人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	情報社会と倫理	情報化社会の問題点と情報倫理
第2回	フォルダー作成	データ処理とファイル処理
第3回	データ処理の基本	研究の基本とデータ処理の基本
第4回	レポート作成の基本	プレゼンテーションソフトの基本と作成
第5回	レポート作成の応用	プレゼンテーションソフトの活用
第6回	Webの基本	Webデザインの基本と理論
第7回	Webの応用	Webデザインの応用と活用
第8回	Webと画像	Webデザインの画像の応用と活用
第9回	統計処理の基本	学術論文の概念と統計処理の基本
第10回	統計データ処理	学術論文の書式と統計データ処理の基本
第11回	グラフの処理	学術論文の書式と統計処理とグラフの処理
第12回	回帰分析	学術論文の書式と回帰分析
第13回	データの検定	学術論文の作成とデータの検定
第14回	小論文の作成	課題レポートおよび小論文の作成
第15回	論文作成のまとめ	課題レポートと論文作成のまとめ

**担当者から一言**

--

講義名	情報科学概論(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

#### 授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。  
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

#### 授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

#### 履修資格



講義名	情報科学概論(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

#### 授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。  
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

#### 授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

#### 履修資格





講義名	情報科学概論(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

#### 授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

#### 履修資格



講義名	人間探求学(生活デザイン)						担当教員	学科教員/面矢 慎介/印南 比呂志/ 宮本 雅子/森下 あおい/南 政宏/ 佐々木 一泰/藤木 庸介/横田 尚美/
講義コード	1150360	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101HUM101							

#### 授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。学科の1年生を少人数グループ(3~4名)に分け、担当教員を割り当てる。学期を前半と後半に分け、各グループは前半と後半とでそれぞれ別の教員から指導を受ける。

#### 到達目標

- (1)自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養う。
- (2)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席を重視する。3回以上の欠席者は授業期間終了後に呼び出し、面談して個別に指導する。成績には授業での発言、レポート、プレゼンテーション等に対する各担当教員の評価を加味する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：担当教員が指示する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	川の未来学						担当教員	村上 修一
講義コード	1150451	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

本科目は、専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる、川の問題をとりあげる。まず、国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。次に、川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。その上で、川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

#### 到達目標

- (1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
- (2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
- (3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標 (1) : ワークシート1 (30%) 到達目標 (2) : ワークシート2 (30%) 到達目標 (3) : ワークシート3 (40%)

ワークシート1, 2, 3は、それぞれ第5, 10, 14回の授業時間内に履修生が記述し、回収される。第6, 11, 15回に解説が行われ、履修生は理解を深める。

#### 授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票 市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学 吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋 他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	比較住居論						担当教員	藤木 庸介
講義コード	1150460	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101HUM1761, 33RED121, 135LAH206							

#### 授業概要

世界には、生態や文化、社会の違いにより、地域に固有な（ヴァナキュラーな）さまざまな住まいが存在する。ヴァナキュラーな住まいの空間について、主に中国、東南アジアから西アジア、インド、アフリカ、ヨーロッパの事例を紹介しながら、その形式や技術、住まいに対する思想について解説するとともに、風土、歴史、文化、社会制度、生活様式など多様な観点から、その構成原理を考える。

#### 到達目標

- (1) 世界の多様な住居のあり方を理解し、事例を挙げて説明ができる。
- (2) 人々の生活と住居構成に関する相関性を理解し、説明ができる。
- (3) 様々な居住文化のあり方に対して、自らの生活を相対化して位置づけられる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に挙げた(1)(2)(3)の内容を包含した小テストを2回行い評価する。成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。

やむを得ない事由により小テストを欠席する場合には、必ず事前に申し出ること。  
また、当日の急病等によって事前の申し出ができて欠席した場合には、病状に関する診断書を提出すること。  
上記以外により小テストを欠席した者は、単位取得を認めない。

#### 授業外学習

教科書、並びに授業で配布されるプリントを復読することが望ましい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	住まいが見つたえる世界の暮らし	藤木庸介	世界思想社	ISBN978-4-7907-1689-1
2				
3				

教科書は第4回目の授業から使用する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書に記載の無い講義内容については、プリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	比較住居論							担当教員	藤木 庸介
講義コード	1150460	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101HUM1761, 33RED121, 135LAH206								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	本講義の内容と目的、講義の進め方、評価の方法等を解説する。
第2回	住居構成の基礎	建築物の構造や素材といった、住居構成の基礎的な仕組みについて解説する。
第3回	中国の住居（1）	中国中原、並びに南方の四合院における居住文化と住居構成について解説する。
第4回	中国の住居（2）	中国中原における窑洞の居住文化と住居構成について解説する。
第5回	中国の住居（3）	中国内モンゴル自治区におけるゲルの居住文化と住居構成について解説する。
第6回	東アジアの住居	台湾北部の山岳少数民族地域・他における居住文化と住居構成について解説する。
第7回	世界のトイレ事情・世界のスラム事情	世界におけるトイレ文化、スラム街とそこでの暮らしについて解説する。 第1回目の小テストを行う。
第8回	東南アジアの住居（1）	フィリピン北部の山岳少数民族地域における居住文化と住居構成について解説する。
第9回	東南アジアの住居（2）	インドネシア北部の山岳少数民族地域における居住文化と住居構成について解説する。
第10回	南アメリカの住居	ペルー・ティティカカ湖の浮島における居住文化と住居構成について解説する。
第11回	インドの住居	インド北部・ヴァーラーナシーにおける居住文化と住居構成について解説する。
第12回	西アジアの住居	かつてイラクにあった家族島における居住文化と住居構成について解説する。
第13回	アフリカの住居	アフリカ北部の居住文化と住居構成について解説する。
第14回	イギリスの住居	イギリス・コッツウォルズの居住文化と住居構成について解説する。
第15回	まとめ	本講義の総括を行い、居住文化と住居構成の多様性について考察を行う。 第2回目の小テストを行う。

#### 担当者から一言

本講義の定員は、原則130名とする。  
定員を超える受講希望者があった場合には、レポート課題により受講者の選考を行う。

講義名	Model United States of America						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

Model USA is an educational simulation in which students will learn about the United States of America ( "USA " ) and its unique form of government. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a senator from one of the 50 states that make up the USA. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from the USA.

#### 到達目標

(1) Students will learn about US history and how it impacts the current political environment. (2) Students will learn about the US governmental system and the role political parties play in it. (3) Students will learn about current events and debate potential solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate in order to reach a solution to a problem.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their experience.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for participation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

#### 授業外学習

Students will need to be aware of current events in the US. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	Model United States of America						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	Course overview
第2回	Basic USA History	Lecture on US history
第3回	US Government I	Lecture on the US governmental system
第4回	US Government II	Lecture on the US governmental system
第5回	Seminar I	Group work - Students will be divided into states and assigned political parties and committees
第6回	Political Parties	Lecture on US political parties
第7回	Seminar II	Group work - Students prepare for presentations on US states and issue presentations
第8回	State Presentations I	Students present on their respective states
第9回	State Presentations II	Students present on their respective states
第10回	Seminar III	Group work - Students prepare for issue presentations
第11回	Issue and discussion I	Students present and discuss issue in mock debate
第12回	Issue and discussion II	Students present and discuss issue in mock debate
第13回	Issue and discussion III	Students present and discuss issue in mock debate
第14回	Issue and discussion IV	Students present and discuss issue in mock debate
第15回	Review	Course review and essay preparation workshop

**担当者から一言**

Students will be provided with all materials including handouts that are intended for self-study.

講義名	Model United Nations						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

Model United Nations is an educational simulation in which students will learn about the United Nations (UN) and its role in the world. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a representative of from one of the many nations that make up the UN. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from around the world.

#### 到達目標

(1) Students will learn about the history of the United Nations and how it impacts our world. (2) Students will learn about parliamentary procedure and how issues are debated at the UN. (3) Students will learn current events and debate potential solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate in order to reach a solution to a problem.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their experience.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for participation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

#### 授業外学習

Students will need to be aware of current events in the world. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	Model United Nations							担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	Course overview
第2回	History of the UN	Introduction to the UN and its history
第3回	Parliamentary Procedure	Introduction to parliamentary procedure and Robert's Rules of Order
第4回	Simulation	Practice simulation
第5回	Seminar I	Group work - Students will be divided into countries and assigned committees
第6回	Seminar II	Lecture on committees. Group work - Students prepare for country presentations
第7回	Seminar III	Group work - Students prepare for country presentations
第8回	Country Presentations I	Students present on their respective countries
第9回	Country Presentations II	Students present on their respective countries
第10回	Seminar IV	Group work - Students prepare for issue presentations and discussion
第11回	Issue I	Students present and discuss issue in mock debate
第12回	Issue II	Students present and discuss issue in mock debate
第13回	Issue III	Students present and discuss issue in mock debate
第14回	Issue IV	Students present and discuss issue in mock debate
第15回	Review	Course review and essay workshop
担当者から一言		
Students will be provided with all materials including handouts that are intended for self-study.		

講義名	建築法規							担当教員	戸川 勝紀
講義コード	1201270	単位数	2	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	313ARC225, 333RED224								

#### 授業概要

法治国家の目的は、正義及び公平の原則に従って、社会を規律し、かつ法的安定性をもたらすことであり、社会秩序を維持し、国民間の利害を調整して国民に経済的・文化的に人間に値する生活を営ませることである。そして、建築基準法の目的は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することである。これらを踏まえて、都市デザイン、建築デザイン及び生活デザインを行うために、建築関係法令の役割及び規制の概説だけでなく、誘導及び仕組み方も解説する。また、具体的な事例をもとに制限や可能性を解説し、都市、建築及び生活に取り巻く今日的課題と法整備の状況を解説する。

#### 到達目標

(1) 法律制度を説明できる。(2) 建築法規の目的を説明できる。(3) 都市デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。(4) 建築デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。(5) 生活デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業開始時に試験を行う。 授業終了後に試験を行う。 合計100点満点のうち、60点以上を合格とする。
レポート課題		
上記以外	加点	講義中に質問を行うので正解した学生または授業内容の習得に関する質問を行った学生について、一回につき5点を成績に加点する。

毎回講義開始及び講義終了時に試験を行う。試験は、教科書1(平成31年版建築基準法〔法令編〕)、教科書2(建築法規用教材2019)及び講義ノート(自身で記載したもの)を閲覧可能とするので、教科書への書き込み、講義ノートへの記帳をすると圧倒的に試験に有利である。故に初日から必ず教科書1及び教科書2を用意しておくこと。

#### 授業外学習

(成績評価備考2)  
講義中に質問を行うので正解した学生または授業内容の習得に関する質問を行った学生について、一回につき5点を成績に加点する。発言に対して

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	平成31年度版建築基準法令集〔法令編〕	国土交通省住宅局・一般社団法人日本建築学会	技法堂出版株式会社	
2	建築法規用教材2019	一般社団法人日本建築学会	丸善出版株式会社	
3				

教科書1及び教科書2は講義に必要となるので、必ず初日から持参すること。毎回の試験中の閲覧が可能であることから、持参しない場合は単位

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	建築法規 第2版増補(建築学の基礎)	矢吹茂郎・加藤健三	共立出版株式会社	
2	行政不服審査の実務	行政不服審査実務研究会	第一法規株式会社	
3	公務員のための住民も納得の窓口対応	山口道昭ほか	第一法規株式会社	

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	一般構造						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1400070	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233RED222							

#### 授業概要

建築やインテリアに関する技術論。建築物を成立させている部位の構成や仕組みがどのようなものかを理解し、建築やインテリアを学ぶ上で知っておきたい基礎的な建築技術の概要や構造、架構の知識を身につける。

#### 到達目標

- (1) 建築技術、構造の全体像を把握する。
- (2) 各種構造を把握する。
- (3) 建築やインテリアに携わる人が必要とする建築技術専門用語を修得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	
レポート課題	20	
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図説やさしい建築一般構造	今村仁美・田中美都 著	学芸出版社	978-4761524777
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	必携建築資料	柳原正人 他	実況出版株式会社	978-4-407-30782-5
2				
3				

#### 前提学力等

建築やインテリアに関する技術論。技術に興味がある学生なら、分野を問わない。  
2年次以降の履修が望ましい。

#### 履修資格



講義名	一般構造					担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1400070	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義
ナンバリング番号	233RED222						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	講義概要、建築一般構造全体について	講義概要、建築一般構造全体について
第2回	各種構造概要	
第3回	木構造-1	
第4回	木構造-2	
第5回	木構造-3	
第6回	木構造-4	
第7回	木構造-5	
第8回	鉄筋コンクリート造-1	
第9回	鉄筋コンクリート造-2	
第10回	鉄筋コンクリート造-3	
第11回	鋼構造-1	
第12回	鋼構造-2	
第13回	鋼構造-3	
第14回	その他・各種構造	
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	インテリア計画論						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400080	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233RED221							

#### 授業概要

ここでは主に住居の内部空間の設計に必要な知識を習得することを目的とする。まず、インテリア計画のプロセスを説明した上で、住宅の構造、構法および住宅のインテリア構成要素について解説する。その上で、各室における機能とインテリア計画上の要点についてグループワークを交えながら講義する。

#### 到達目標

- (1)住居のインテリアを構成している要素を理解し、説明できる。
- (2)平面計画から住生活を読み解く力をつける。
- (3)実際のインテリア空間を観察、評価できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	25	
上記以外	25	到達目標の(1)住居のインテリアを構成している要素を理解し、説明できる、については、期末試験35%、レスポンスペーパー15%、(2)平面計画から住生活を読み解く力をつける、については、期末試験15%、レスポンスペーパー10%、(3)実際のインテリア空間を観察、評価できる。については、レポート25%で評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インテリアの計画と設計		彰国社	
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	インテリアコーディネート概説						担当教員	藤木 庸介
講義コード	1400088	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	333RED222							

#### 授業概要

生活に関わるデザイン現場において、インテリアコーディネートに対する基礎知識は今や必須の要件と言えよう。ここでは特に、店舗や住宅におけるインテリアコーディネートの実践について、実社会やデザイン現場で必要不可欠、且つ、有用な知識を習得する。尚、本演習で習得する知識は、公益社団法人インテリア産業協会が主催する「インテリアコーディネーター資格試験」に応用可能な知識と成り得る。

#### 到達目標

- (1) インテリアコーディネートの基礎知識を習得し、実社会において応用する事ができる。
- (2) 公益社団法人インテリア産業協会が主催する「インテリアコーディネーター資格試験」の合格に必要な知識を習得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に記載した(1)(2)の内容を包含した小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

インテリアコーディネーター資格試験の合格を目指す者は、継続的な自主勉強が必要であり、予習復習が必須である。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インテリアコーディネーター1次試験合格教本 上巻・下巻		ハウジングエージェンシー	
2	インテリアコーディネーター資格試験 年度別 過去問題集		ハウジングエージェンシー	
3				

初回は合格教本と問題集を持参しなくてよい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環琵琶湖文化論実習（生活デザイン）						担当教員	学科教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1400340	単位数	2	開講期	通年	授業種別	実習	
ナンバリング番号	133LVD101							

#### 授業概要

滋賀県の歴史、文化、生活をその対象として実習をおこなう。各学科ごとに地域、テーマ別に班編成をし、事前学習、実地調査の実習、さらに実習後の報告書の作成をおこなう。

#### 到達目標

- (1)フィールドワークをおこなうことによって、地域の歴史、文化、生活に対する意識を高める。  
(2)調査の手法、報告書のまとめかた等の技術を習得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標の(1)フィールドワークをおこなうことによって、地域の歴史、文化、生活に対する意識を高める、については、実習への参加・貢献40%、(2)調査の手法、報告書のまとめかた等の技術を習得する、については、事前学習への貢献40%、事後学習への貢献20%で評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：各班担当の教員の指示による

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	基礎設計製図						担当教員	藤木 庸介 / 南 政宏
講義コード	1400430	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	133RED221							

#### 授業概要

建築設計製図に必要な基本的な製図技術と技法を習得する。建築家による設計図面のトレースや、模型の制作によって、製図や模型制作の基礎を学ぶ。アクソメトリックやインテリアパースの作成によって空間の視覚的な表現力を身に付ける。建築の基礎的な表現技法を学ぶとともに、図面を通して空間を想像し把握する力を養う。小規模な空間を自身で設計することで、空間的思考力と計画力、製図能力を習得する。

#### 到達目標

- (1) 建築製図の基本的なルールを理解し、製図技法を習得する。
- (2) 建築模型の製作技法を習得する。
- (3) 小規模空間を計画し、破綻のない設計が出来るようになる。
- (4) 自身の制作物や設計のプレゼンテーションが出来るようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題の提出物(80%) 講評会でのプレゼンテーション(20%)

全課題の提出が単位認定の最低条件とする(一つでも課題未提出がある場合は単位不認定)  
成績は全ての課題作品評価の合計点に、講評会でのプレゼンテーション評価を加えて算出する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初歩からの建築製図	藤木庸介・柳沢究	学芸出版社	ISBN978-4-7615-25587-3
2				
3				

第3回目授業までに指定した教科書を用意すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	基礎服飾デザイン						担当教員	横田 尚美 / 森下 あおい
講義コード	1400440	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	133FSD261							

#### 授業概要

服飾デザインの基礎知識として、デザイン画の基本的な技法を修得し、人体のプロポーションと着装の関係を把握する。また、服飾デザインに必要な服づくりの基本的な知識を得るための実習を行う。また次年度で服を製作する準備として、アイロン掛けや、手縫とミシン縫いの基本を学ぶ。それとともに、これまで意識して来なかった各自の衣生活について見直す。

#### 到達目標

- (1) 基本的なデザイン画の技法を理解する。
- (2) 服づくりについての最低限の専門用語を知り、最低限の商品知識を持つ。
- (3) 基本的なアイテムの構造について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)～(3)について、毎回の提出物とレポートによって評価する

#### 授業外学習

授業でまとめきれなかった分を宿題とすることがある。また、事前に課題を与えることがある。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

中高の家庭科の教科書を持っていれば、それを参考にしてほしい。持参してもらう場合があるかもしれない。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	近代デザイン史						担当教員	面矢 慎介
講義コード	1400570	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233LVD202							

#### 授業概要

近代になって、産業革命、市民社会の成立、科学技術の発展などによって、社会は大きく変化した。なかでも、合理主義・機能主義により、われわれの生活空間は、徐々にモダニズムのデザインにおおわれてきた。そして現代、豊かさ、情報化、都市化、グローバル化によって、我々の生活や意識（価値観、美意識、家族観）も変りつつある。このようななかで、近代はじめより現代にいたるまでの間の生活デザイン、主として、道具、インテリア、印刷物などのデザインにおいて、どのような変革の試みがなされてきたのかを、具体例を通して概観する。

#### 到達目標

- (1) モダンデザインの流れの全体像をつかむ。
- (2) 種々のデザイン運動グループの位置付けと特徴を知る。
- (3) 有名デザイナーの名とその作品に親しむ。
- (4) デザイナーの作品の特徴や他との影響関係を調べ、文章にまとめることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末筆記試験
レポート課題	55	宿題
上記以外	15	レスポンスペーパー

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。

#### 授業外学習

期間中の宿題として、モダンデザインで活躍したデザイナーで、自分の気に入った人物の評伝と作品について、手描きスケッチ入りでレポートする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー版・世界デザイン史	阿部公正(監)	美術出版社	978-4-568-40084-7
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	空間デザイン論						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1400580	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333RED223							

#### 授業概要

この授業では空間に関するデザインについて学ぶ。空間のデザインは建築やグラフィックなどの視覚伝達手法や、社会や風土の文化的背景、人の行動などの心理的影響から成り立つ。前半は近現代の西洋の空間デザインについて学び、次にその日本への影響を踏まえて、近現代の日本の空間デザインについて学ぶ。後半は社会や風土の文化的背景を踏まえた上、視覚伝達の仕組みや、人間の行動とデザインの関係について学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 空間に対する理解や設計、デザインを行う際の、思考の助けとなる様な基礎知識を習得する。
- (2) デザインに関しての論理的フレームを、構成理論や技術に基づいて理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	全15回の授業内全てに小レポートを課し、その内容で評価する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

あらかじめ配布されたプリントを授業までに読解し、背景を理解したうえで授業に臨むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	作家たちのモダニズム	黒田智子 他	学芸出版社	4-7615-2307-7
2	近代日本の作家たち 建築をめぐる空間表現	黒田智子 他	学芸出版社	4761523794
3				

授業中プリント配布

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	建築計画論						担当教員	藤木 庸介
講義コード	1400705	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233RED223							

#### 授業概要

世界には建築に対する多様な考え方や表現があり、これらを概観する事は、建築を理論的、且つ、感覚的に理解する上での必須要件と言えよう。本講義では建築に対する議論や設計を巡る思考の助けとなる様な基礎知識、あるいは最低限知っておくべき論理的フレームを“Architectural Design”という言葉の上に広く捉えつつ、これらの知見をわかりやすく解説する。

#### 到達目標

- (1) 建築に対する議論や設計を巡る思考の助けとなる様な基礎知識を習得する。
- (2) 建築計画に関する、最低限知っておくべき論理的フレームを“Architectural Design”という言葉の上において理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に記載した(1)(2)の内容を包含した小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

教科書の講義対象部分を事前・事後において通読することが望ましい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	テキスト建築意匠	平尾和洋・末包伸吾	学芸出版社	ISBN4-7615-3146-0
2				
3				

第2回目授業までに教科書を用意すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	建築計画論							担当教員	藤木 庸介
講義コード	1400705	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	233RED223								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	本講義の内容と目的、講義の進め方、評価の方法等を解説する。
第2回	力の流れと表現（1）	基礎的な建築構造の考え方について解説する。
第3回	力の流れと表現（2）	基礎的な建築構造の考え方について解説する。
第4回	近代の建築（1）	基礎的な近代建築理論について解説する。
第5回	近代の建築（2）	基礎的な近代建築理論について解説する。
第6回	現代の建築（1）	基礎的な現代建築理論について解説する。
第7回	現代の建築（2）	基礎的な現代建築理論について解説する。
第8回	建築表記の射程（1）	建築表記の実践とその意義について解説する。
第9回	建築表記の射程（2）	建築表記の実践とその意義について解説する。
第10回	建築の原点（1）	建築の原点とその意義について解説する。
第11回	建築の原点（2）	建築の原点とその意義について解説する。
第12回	建築の要素（1）	建築を構成する様々な要素について解説する。
第13回	建築の要素（2）	建築を構成する様々な要素について解説する。
第14回	光について	建築と光の関係について解説する。
第15回	まとめ	本講義を総括し、建築計画の意義について考察を行う。

担当者から一言

講義名	考現学概論						担当教員	面矢 慎介
講義コード	1400730	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD109-C							

#### 授業概要

生活を捉える基本的な方法論としての考現学について解説する。日本において創始された考現学は、生活のありようをとらえる有効な方法であるばかりか、生活実態に即したデザインの発想をうながし、現在まで多くの生活研究者・デザイン実務家によって発展・継承されている。考古学者が発掘した遺構・遺物から過去の生活相を復元し想定するように、考現学では、現在の生活を観測、観察、記録して、その生活相の変化を明らかにし、新しい生活をデザインするための立脚点とする。本講義では、考現学の創始者・今和次郎（1888～1973）から現在にいたる考現学的生活研究の系譜を論じ、さまざまな考現学的調査手法を事例を交えて解説する。グループワークによる調査体験、授業期間終了後の個人調査・レポート制作を含む。

#### 到達目標

実際の調査体験を通して、生活文化をとらえるための考現学的観察・記録の方法と視点を修得する。（1）過去の考現学調査の方法と視点を理解し、自分なりの感想や意見を述べることができる。（2）グループワークに参加し協働して調査を計画・実行できる。（3）個人で調査を計画・実行し、その結果を文章や図解にまとめることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70	個人調査レポート（期末レポート）
上記以外	30	コメントカード（寄与率10%）、グループワークでの貢献度（寄与率20%）

個人調査レポートは授業期間終了後、夏期休暇中に作成する。グループワークへの参加はそれまでの講義時間数の半分以上を出席した者に限る。

#### 授業外学習

夏期休暇中の個人調査レポート（必須）

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	考現学入門	今和次郎	ちくま文庫	4-480-02115-9 C0136
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	考現学概論							担当教員	面矢 慎介
講義コード	1400730	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD109-C								

授業計画									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	考現学とはなにか	基本的定義・方法的特性
第2回	今和次郎とその考現学	今和次郎の考現学とその時代背景
第3回	今和次郎グループの考現学手法	観察、スケッチ、計測、集計、図化
第4回	考現学の現代的継承 1	生活財生態学、民具悉皆調査
第5回	考現学の現代的継承 2	とげぬき地蔵の考現学
第6回	考現学の現代的継承 3	街歩き、路上観察
第7回	現学の現代的継承 4	自動販売機の生態、自転車駐車場の生態
第8回	グループワーク 1	調査テーマの探索
第9回	グループワーク 2	調査テーマ決定、仮調査
第10回	グループワーク 3	調査方法詳細の決定
第11回	グループワーク 4	調査経過会議
第12回	グループワーク 5	調査経過会議
第13回	グループワーク 6	調査結果の集計・分析
第14回	グループワーク 7	成果報告準備
第15回	グループワーク 8	成果報告会、個人調査課題の出題

担当者から一言
---------

講義名	構造計画（生活デザイン）						担当教員	渡邊 須美樹
講義コード	1400820	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233RED224							

#### 授業概要

建物を計画するということは、機能性、安全性を把握しさらに芸術性を盛り込む総合的な作業である。建物を成立させるためには、建物に作用する力の種類と流れを掌握し、構造材料の特性を活かして架構することが必要である。本講義では建物に作用する外力に対して使用する構造材料の特性を活かし効率の良い構造計画を習得することと、小規模木造建物の計画について講義する。

#### 到達目標

建物に作用する力の種類と流れをに対し、建物の安全性を確保するための基本的な架構計画を習得し、小規模木造建物を設計する能力を身に着けること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	記述試験を行なう。
レポート課題	0	
上記以外	30	毎回復習小テストを行なう。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

建築計画は普段街を歩いている時に工事現場に興味をもち、今はどのような作業をしているかを自分で学び取ることが一番の復習・予習になると考えます。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	やさしい建築一般構造	今村仁美・田中美都	学芸出版	978-4-7615-2477-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

物理の基礎知識を有していること

#### 履修資格

講義名	構造計画（生活デザイン）						担当教員	渡邊 須美樹
講義コード	1400820	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233RED224							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	構造計画とは	建築物の構造計画概要、必要性を講義
第2回	建築物に作用する力と荷重条件	建築物に作用する力、荷重条件を講義
第3回	建築構造の材料概要	建築物を構成する材料の特性概要について講義
第4回	各構造の基礎知識	木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造についての基礎知識を講義
第5回	各構造の基礎知識	木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造についての基礎知識を講義
第6回	木造軸組工法 基礎	木造軸組工法の基礎・地業部分について講義
第7回	木造軸組工法 軸組	木造軸組工法の軸組部分について講義
第8回	木造軸組工法 壁量計算	木造軸組工法の壁量計算について講義
第9回	木造軸組工法 小屋組	木造軸組工法の小屋組部分について講義
第10回	木造軸組工法 床組	木造軸組工法の床組部分について講義
第11回	木造軸組工法 接合部その他	木造軸組工法の接合部分その他について講義
第12回	木造枠組壁工法・丸太組工法	木造枠組壁工法、丸太組工法について講義
第13回	鉄筋コンクリート造構造計画	鉄筋コンクリート造の構造計画について講義
第14回	鉄骨造構造計画	鉄骨造の構造計画について講義
第15回	まとめ	全体の復習、おさらい
担当者から一言		

講義名	構造力学 (生活デザイン)						担当教員	渡邊 須美樹
講義コード	1400830	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	213ARC202, 214BRM289, 333RED321							

#### 授業概要

建築空間を構成するためには、建物に作用する力の種類と流れ、および建物を構成する部材に作用する力とそれに対する架構の挙動を理解することが不可欠である。本講義では、基礎的な構造力学を学習する。

#### 到達目標

静定構造物を対象とした建築構造力学の基礎知識を習得し、簡単な骨組構造を対象として力学の基礎原理を習得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	記述試験を行なう。
レポート課題		
上記以外	30	毎回復習小テストを行なう。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

構造力学は自然の摂理を数字で表現することです。普段の生活の中で感じる「物に作用する力」を意識することで授業の内容が身近なものに感じることができます。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	やさしい構造力学	浅沼清昭	学芸出版	978-4-7615-2349-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

数学の基礎知識を有していること

#### 履修資格



講義名	サステナブルデザイン論						担当教員	南 政宏
講義コード	1400910	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD108							

#### 授業概要

大量消費、大量生産によって経済発展を遂げ、支えられてきた二十世紀。現在、その豊かさの代償に様々な弊害や歪みが起きている。様々な仕組みを見直す時がきている。デザインの力がどのように社会に貢献できるのか考察する。デザインとは何か。デザインの基礎的な話から、現在世の中で変わりつつあるデザインの役割、持続可能な社会にサステナブルなものづくり、社会システムのあり方を先端事例を交えて考える。

#### 到達目標

デザイナーの職能と、デザインの果たす役割、デザインの可能性について様々な見地からの知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	テーマに沿って、オリジナリティのある視点で書けているか。
上記以外	70	毎回のレスポンスペーパー

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

必要に応じて小レポート課題を課する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書はなし。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	世界を変えるデザイン	シンシア・スミス	英治出版	4-86276-058-9
2	Balance in design 美しくみせるデザインの原則	Kimberly Elam	ビー・エヌ・エヌ新社;	4861007933
3				

#### 前提学力等

生活デザイン学科1年次での履修が望ましい。

#### 履修資格





講義名	色彩学						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400930	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233LVD204							

#### 授業概要

現代は生活の質が求められる時代となり、生活のさまざまな場面で色彩の果たす役割は大きくなっている。しかし、騒色という言葉があるように色彩が人に悪影響を及ぼすこともある。そこで、生活デザインにおける快適な色彩計画のための基礎知識を得ることをねらいとし、色の表示方法や色彩調和論等について講義する。

#### 到達目標

- (1) 色彩の表示方法について習得する。
- (2) 配色技法について理解し、生活の中での配色事例について分析できる
- (3) 生活の中の色彩について基本的な知識を習得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	
レポート課題	15	
上記以外	45	到達目標の(1)色知覚について理解し、色彩の表示方法について習得する、については、課題5%、小テスト15%、期末試験10% レスポンスペーパー5%、(2)色彩調和、配色技法について理解し、生活の中での配色事例について分析できる、については、課題10%、小テスト15% 期末試験10% レスポンスペーパー5%、(3)生活の中の色彩についての

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	色彩：カラーコーディネーター入門		日本色研事業	978-4-901355-27-8
2				
3				

副教材として「新配色カード199a」を使用

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	色彩学演習						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400940	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233LVD205							

#### 授業概要

色彩感情や調和理論についての認識を深めるためにポスターカラーやパーソナルコンピュータによる画像処理を利用した色彩表現を行う。また、すべての色はシステム化された記号や数字で示し、各種色度図上に表現できることを理解するため機器類を使用して測色を行う。さらに、生活の中に見られる色彩について興味関心を持ち、評価できる力をつける。

#### 到達目標

- (1) 色料の3原色の混色による色彩表現ができる。
- (2) 色彩の測定方法を理解する
- (3) 実際のモノ、空間の配色について調査し、評価できる。
- (4) 問題のある配色について、コンセプトに基づいた好ましい配色の提案ができる。
- (5) 感覚だけではなく理論に基づいた色彩計画ができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標の(1)色料の3原色の混色による色彩表現ができる、については、課題作品15%、(2)色彩の測定方法を理解する、については、課題作品10%、(3)実際のモノ、空間の配色について調査し、評価できる、については、プレゼンテーション10%、レポート10%、(4)問題のある配色について、コンセプトに基づいた好ましい配色の提案ができる、

課題の提出期限は厳守  
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「配色カード199a」を色彩調査に使用する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「デジタル色彩マニュアル」「建築の色彩設計法」等、演習の中で適宜紹介

#### 前提学力等

色彩の表示方法や配色技法について理解していること

#### 履修資格



講義名	社会調査方法論						担当教員	大野 光明
講義コード	1401130	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	230SOC204, 233MKD281, 235SOC203							

#### 授業概要

本講義では、社会調査の企画・設計から資料・データの収集と整理までの具体的な過程と方法を学び、自分で調査できるだけの具体的な調査技術を身につけることを目的とする。  
 社会調査は大きく分ければ、量的調査と質的調査に分けることができる。本講義では、(1)量的調査については、調査票を用いた調査の方法を修得することに重点を置く。具体的には、調査の企画・設計、仮説構成、調査方法の選定(全数調査と標本調査)、標本抽出(無作為抽出、標本数・標本誤差の理解)、調査票と質問文の作成、調査の実施(調査票の配布・回収の方法)、収集されたデータの整理(エディティング、コーディング、データクリーニング)について学ぶ。また、(2)質的調査については、インタビュー調査およびフィールドワークの方法の具体を学び、フィールドワークの作成方法なども修得する。  
 講義では、グループワークやグループディスカッションを積極的に取り入れる。

#### 到達目標

- (1) 調査目的・方法・手順および調査問題の選択と仮説の設定について理解することができる。
- (2) 社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形まで整理していく具体的な方法が理解できる。
- (3) 質問紙の作成についての技術と能力を身につけることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1)、(2)、(3)について、最終試験を実施して評価する。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標(1)と(2)について、授業中に数回の小課題を出して評価する。

小課題(複数回)と最終試験を実施する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	社会調査の基礎	篠原清夫ほか	弘文堂	978-4335551338
2	入門・社会調査法	轟亮・杉野勇	法律文化社	978-4589038173
3	質的社会調査の方法ー他者の合理性の理解社会学	岸政彦ほか	有斐閣	978-4641150379

参考書はその都度紹介する。授業中にプリントを配布する。

#### 前提学力等

グループワークやグループディスカッションに積極的に参加できる人、あるいは、苦手かもしれないけれどチャレンジしてみようという人の参加をお待ちしています。

#### 履修資格



講義名	社会調査論						担当教員	中井 治郎
講義コード	1401140	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	130SOC103, 133LVD107, 135SOC202							

#### 授業概要

社会調査とは、社会事象を人間の社会的な生活連関における意味に即して調査することをいう。本講義では、現代社会において社会的現実を知る有力な手段である社会調査の概要、歴史、種類、問題点など、基本的事項を概説するとともに、その意義について考える。

#### 到達目標

- (1) 社会調査の分類や倫理に関する基本的事項が理解できる。
- (2) 社会調査の歴史や手法に関する知識と理解力を身につけることができる。
- (3) 国勢調査の特徴と課題について自らの考えを述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	到達目標(3)については、論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	30%	到達目標(1)(2)については、2回程度授業中に小レポートを実施する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。ただし、正当な理由があると認められる場合は考慮するので、事前または事後にその旨申し出ること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書はその都度紹介する。必要に応じて授業中にプリント等の資料を配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	社会調査論						担当教員	中井 治郎
講義コード	1401140	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	130SOC103, 133LVD107, 135SOC202							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	社会調査とは何か	社会調査士資格、原語、主要な要素と性格、目的、意義などについて述べる。
第2回	社会調査の分類	実践的調査と科学的調査について述べる。
第3回	社会調査の類型	統計調査（センサス）、学術調査、世論調査、市場調査について述べる。
第4回	社会調査の歴史（1）	ヨーロッパの社会調査の歴史について概観する。
第5回	社会調査の歴史（2）	アメリカの社会調査の歴史について概観する。
第6回	社会調査の歴史（3）	日本の社会調査の歴史について概観する。
第7回	国勢調査	日本の国勢調査の歴史、時期、地域、対象、事項、方法、問題点などについて述べる。
第8回	国際比較調査	国際比較調査の実際と課題について概説する。
第9回	調査研究の方法(1)	量的調査と質的調査について概説する。
第10回	調査研究の方法(2)	統計的方法と事例研究法について概説する。
第11回	調査票調査	調査の種類、手順、過程などについて述べる。
第12回	フィールドワーク	調査の種類、手順、過程などについて述べる。
第13回	様々なデータの活用	ドキュメント分析や映像分析などについて、その手法と課題を述べる。
第14回	社会調査と倫理	調査の規範、倫理、調査とプライバシーなどについて述べる。
第15回	まとめ	この授業全体について、総括を行う。
担当者から一言		
この科目は社会調査士資格科目でもあるので、社会調査士の資格を取得しようと思っている人は必ず受講してください。		

講義名	住環境設計演習						担当教員	佐々木 一泰 / 藤木 庸介
講義コード	1401210	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233RED225							

#### 授業概要

初歩的な設計演習の第一歩として、構造を意識した木造住宅の設計を学ぶ。  
 第1課題では日本の戦後住宅の作品分析と、それをもとにした住宅の設計を行う。特に日本において中心的な構法である木造建築の知識と理解を深め、木造住宅の設計手法を高める。課題である住宅作品を理解したうえで、家族構成やテーマを新たに与え、条件にあった住空間を設計し、新たに増築する。  
 第2課題は、ショート課題として小規模な住宅の設計と、そのプレゼンテーションの作成を行う。

#### 到達目標

- (1) それぞれの構造の特徴を理解した住空間の設計ができる。
- (2) 平面図、断面図、立面図を作成することができる。
- (3) 模型による素材や形、空間の表現ができる。
- (4) 構想・設計・プレゼンテーションスキルをトータルに身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	出題課題による評価

#### 授業外学習

課題にあたっての事前調査、エスキースチェック前に各自予め事前作業を行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実務初心者からの木造住宅設計図・詳細図の描き方	是永 美樹 他	彰国社	978-4395320059
2	コンパクト建築設計資料集成「住居」	日本建築学会	丸善	978-4621076880
3				

#### 前提学力等

基礎設計製図を履修していること

#### 履修資格



講義名	住環境設計演習						担当教員	宮本 雅子 / 藤木 庸介
講義コード	1401220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233RED321							

#### 授業概要

インテリア空間、並びに、地域や環境を考慮した住空間の設計課題を行う。  
必要に応じて、設計の方法、製図の方法、模型制作の方法などを学習する。  
随時、具体的な実例を参照し、設計に資する。

#### 到達目標

- (1) 各自で設定したコンセプトに基づいた住空間の設計ができる。
- (2) 空間の各寸法に対する意味を理解する。
- (3) 平面図、展開図、透視図を作成することができる。
- (4) 模型による素材や形の表現ができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題の成果として提出される図面・模型等およびプレゼンテーションによって評価する(課題 : 50% , 課題 : 50% )。 到達目標の(1)については20%、(2)については20%、(3)については30%、(4)については20%で評価する。

単位取得には、すべての課題を提出することが前提条件となる。  
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初歩からの建築製図	藤木庸介・柳沢究(編著)	学芸出版社	ISBN978-4-7615-2587-3
2				
3				

参考書は授業内に適宜紹介する他、必要に応じてプリントを配布する

#### 前提学力等

基礎設計製図、住環境設計演習 を履修していること

#### 履修資格

講義名	住環境設計演習						担当教員	宮本 雅子 / 藤木 庸介
講義コード	1401220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233RED321							

## 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	課題 : 集合住宅のリフォーム	課題説明、ベース図面の作図
第2回	課題 : 集合住宅のリフォーム	展開図のトレース、エスキースチェック・ワークショップ
第3回	課題 : 集合住宅のリフォーム	コンセプトの提出、エスキースチェック・ワークショップ
第4回	課題 : 集合住宅のリフォーム	透視図のトレース、図面制作
第5回	課題 : 集合住宅のリフォーム	模型制作説明、図面・模型制作
第6回	課題 : 集合住宅のリフォーム	図面の提出・模型制作
第7回	課題 : 集合住宅のリフォーム	模型制作
第8回	課題 : 集合住宅のリフォーム	課題 講評会・課題 出題
第9回	課題空間 : 地域や環境を考慮した住	地域の調査・ワークショップ
第10回	課題空間 : 地域や環境を考慮した住	エスキースチェック・ワークショップ
第11回	課題空間 : 地域や環境を考慮した住	エスキースチェック・ワークショップ
第12回	課題空間 : 地域や環境を考慮した住	プレゼンテーション制作 ・チェック
第13回	課題空間 : 地域や環境を考慮した住	プレゼンテーション制作 ・チェック
第14回	課題空間 : 地域や環境を考慮した住	プレゼンテーション制作 ・チェック
第15回	課題空間 : 地域や環境を考慮した住	課題 講評会
担当者から一言		

講義名	住環境設計演習						担当教員	佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 山下 麻子
講義コード	1401230	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	333RED322							

#### 授業概要

住空間においてより広い視野を養う。第1課題では居住空間と公共性をもつ非居住空間を併用した建築物を計画する。それぞれの空間の特性を理解し、それぞれの設計条件を考慮した空間を考える。第2課題では、より社会性をもつ住空間として、社会性を反映した空間の設計を行う。地域や様々な家族構成、利用者のスケールを観察・理解し、周囲の外構空間や共用空間、個別空間に反映させる

第1課題では、フィールドサーベイ・住宅設計・店舗設計・ビジュアルコミュニケーションデザインを、第2課題では、上記に加え社会性のある課題をテーマに据え、さらに実務的な設計手法を学ぶ。それぞれの課題では、構想・設計・プレゼンテーションスキルをトータルに身につけることを目指す。

近年、資格関連の受験科目も住宅のみの出題に留まらず、店舗や施設の併用住宅の出題が多い。また、住宅メーカーも住宅から非住宅の建設や設計に幅を拡げつつある。この演習では、より社会的な視点で住空間を中心としながら、それぞれの空間を構想し、より広い視点で地域や社会の中の住環境を構想する。

#### 到達目標

- (1) それぞれの構造の特徴を理解した住空間の設計が出来る。
- (2) 周辺環境を理解した住空間の提案が出来る。
- (3) 平面図、断面図、立面図を作成することができる。
- (4) 模型による素材や形、空間の表現ができる。
- (5) 構想・設計・プレゼンテーションスキルをトータルに身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出課題による評価

#### 授業外学習

課題にあたっての事前調査、エスキースチェック前に各自予め事前作業を行う。また適宜、小課題を出題し、授業時間内に完成させる。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ	川北 健雄 他	彰国社	978-4395241217
2	コンパクト建築設計資料集成「住居」	日本建築学会	丸善	978-4621076880
3				

#### 前提学力等

基礎設計製図、住環境設計演習を履修していること。

#### 履修資格

講義名	住環境設計演習							担当教員	佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 山下 麻子
講義コード	1401230	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	333RED322								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	課題1-1：公共性をもつ住空間	課題出題、敷地調査
第2回	課題1-2：公共性をもつ住空間	グループディスカッション： 敷地カルテの提出、事例調査、ボリュームスタディ
第3回	課題1-3：公共性をもつ住空間	エスキスチェック：ボリュームスタディ、敷地模型制作
第4回	課題1-4：公共性をもつ住空間	エスキスチェック：ボリュームスタディ、個室のデザイン
第5回	課題1-5：公共性をもつ住空間	エスキスチェック：図面・模型制作
第6回	課題1-6：公共性をもつ住空間	クリティック：図面・模型制作
第7回	課題1-7：公共性をもつ住空間	クリティック：図面・模型制作
第8回	課題1-8：公共性をもつ住空間 講評	公共性をもつ住空間：講評会 公共性をもつ住空間：課題出題、説明
第9回	課題2-2：公共性をもつ住空間	グループディスカッション：フィールドサーベイ、見学（計測+調査）
第10回	課題2-3：公共性をもつ住空間	エスキスチェック、ワークショップ + 事例調査
第11回	課題2-4：公共性をもつ住空間	エスキスチェック、ワークショップ
第12回	課題2-5：公共性をもつ住空間	エスキスチェック、ワークショップ
第13回	課題2-6：公共性をもつ住空間	クリティック・図面、模型制作
第14回	課題2-7：公共性をもつ住空間	クリティック・図面、模型制作
第15回	課題2-8：公共性をもつ住空間	公共性をもつ住空間：講評会
担当者から一言		
関西で活躍する女性建築家が非常勤講師で参加する演習です。		

講義名	住環境論						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1401250	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333RED221							

#### 授業概要

超高齢社会に突入した今日、建築の分野では高齢者・障害者にとって好ましい住環境について理解することは避けて通れない。そこで、まず高齢社会における住宅の考え方を理解し、高齢者・障害者に対応した住まいの条件について知る。また、住環境の中でも室内の物理的環境である熱、空気、光を取り上げ、人間と物理量との関係から快適な居住環境をつくりだすための条件を導き出すとともに、自然環境を積極的に利用した室内の環境づくりについて講義する。

#### 到達目標

- (1)空間デザインの中に活かせる知識を得る。
- (2)環境条件の評価ができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	
レポート課題	10	
上記以外	50	到達目標の(1)空間デザインの中に活かせる知識を得る、については、期末試験40%、レスポンスペーパー20%、(2)環境条件の評価ができるについては、小テスト30%、レポート10%で評価する。

レポート1回、小テスト2回、宿題を課すことがある。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「コンパクト建築設計資料集成バリアフリー」「シックハウスを防ぐ最新知識」等、講義の中で適宜紹介。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	住環境論							担当教員	宮本 雅子
講義コード	1401250	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	333RED221								

授業計画									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	高齢社会における住宅 1	高齢者・障害者と住環境
第2回	高齢社会における住宅 2	高齢社会における住宅の考え方
第3回	高齢社会における住宅 3	高齢者・障害者に対応した住まい
第4回	温熱環境 1	温熱要素と快適条件
第5回	温熱環境 2	建築材料と熱の伝わり方
第6回	温熱環境 3	湿気と結露
第7回	空気環境	小テスト、シックハウス症候群とその対策
第8回	光環境 1	測光量とその単位、人間の視覚特性
第9回	光環境 2	快適な光環境のための要件
第10回	光環境 3	人工照明を利用した照明計画
第11回	光環境 4	昼光を利用した照明計画
第12回	環境共生住宅 1	小テスト、環境共生住宅の計画手法
第13回	環境共生住宅 2	建物への日照利用とその効果
第14回	環境共生住宅 3	パッシブクーリングの手法とその効果
第15回	まとめ	全体まとめ

担当者から一言
---------

講義名	消費科学						担当教員	松永 伸洋 / 小林 重信 / 永野 暁 / 藤本 昌則 / 安部 正毅
講義コード	1401350	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233FSD262							

#### 授業概要

繊維に関する基礎知識（繊維、糸、布地、染色加工）および衣料品の企画・設計・製造・苦情事例と解析に関する基本事項を習得する。

#### 到達目標

- (1) 繊維製品の企画および使用に係る問題を考察するための基礎的能力を養う。  
(2) 望ましくは、繊維製品品質管理士（TES）の資格試験における当該科目の問題に対応できる程度の能力を身につけること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験と小テスト（「上記以外」参照）の得点を6：4の割合で総合評価し、満点の60%以上の得点を合格点とする。
レポート課題		事例解析レポート課題の得点を定期試験の一部に組み込むこともある。
上記以外	40%	各講義の後で時間内小テストを行う。（1～2時限に1回程度）

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは各講師が作成し、講義前に配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	繊維製品の基礎知識シリーズ 第1,2,3部	日本衣料管理協会刊行委員会編	日本衣料管理協会	
2	繊維製品の品質苦情が1冊	日本衣料管理協会刊行委員会編	日本衣料管理協会	
3	繊維製品の苦情処理技術が1冊	日本衣料管理協会刊行委員会編	日本衣料管理協会	

繊維製品品質管理士試験問題集（平成26 - 30年度）

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	消費科学							担当教員	松永 藤本 / 仲洋 昌則 / 小林 重信 / 安部 正毅 / 永野 暁 /
講義コード	1401350	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	233FSD262								

授業計画									
回数	タイトル				概要				
第1回	繊維・糸・布地に関する基礎知識				繊維に関する基礎知識 天然繊維について				
第2回	繊維・糸・布地に関する基礎知識				繊維に関する基礎知識 化学繊維について				
第3回	繊維・糸・布地に関する基礎知識				繊維に関する基礎知識 繊維の一般的性質				
第4回	繊維・糸・布地に関する基礎知識				糸に関する基礎知識 紡績糸の作り方				
第5回	繊維・糸・布地に関する基礎知識				糸に関する基礎知識 加工糸の概要				
第6回	繊維・糸・布地に関する基礎知識				布地に関する基礎知識 織物組織と特徴				
第7回	繊維・糸・布地に関する基礎知識				布地に関する基礎知識 ニット、不織布について作り方と特徴				
第8回	染色加工				染色加工 準備・染色について				
第9回	染色加工				染色加工 色合わせ・仕上げ加工について				
第10回	色に関する苦情事例解析				色に関する苦情事例解析 事例紹介と解説				
第11回	色に関する苦情事例解析				色に関する苦情事例解析 実物を用いた解析				
第12回	衣料品の企画・設計				衣料品の企画・設計 アパレルの商品企画				
第13回	衣料品の製造				衣料品の製造 縫製工程について				
第14回	縫製・安全性・表示等に関する事例解析				縫製・安全性・表示等に関する事例解析 事例紹介と解説				
第15回	縫製・安全性・表示等に関する事例解析				縫製・安全性・表示等に関する事例解析 繊維製品の表示に関する解説				
担当者から一言									

講義名	消費科学						担当教員	松永 伸洋 / 永野 暁 / 藤本 昌則 / 金田 哲郎
講義コード	1401360	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333FSD361							

#### 授業概要

消費科学 に引き続き、繊維製品の品質管理、要求品質とその評価方法ならびに消費者行動、消費者問題、家庭用繊維製品の流通・消費過程、消費者苦情・環境問題について学習する。さらに消費者苦情事例から苦情原因の究明、改善・再発防止対策を考え、また繊維産業・繊維製品に関する時宜を得た話題について、論文の実践的な書き方を学習する。

#### 到達目標

- (1) 繊維製品、主として衣料品の品質管理の実施、要求品質・性能の内容ならびに流通・消費者問題について理解できるようにする。
- (2) 繊維製品品質管理士 ( T E S ) の資格試験を受験できるレベルに到達するように学習する。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験と小テスト ( 「 上記以外 」 参照 ) の得点を 6 : 4 の割合で総合評価し、 6 0 点以上を合格とする。
レポート課題		事例問題、論文については小テストに代えてレポート提出で評価するが、得点は小テストに繰り入れる。
上記以外	40%	原則として、各講義の後に時間内小テストを行う。事例問題や論文については、小テストに代えてレポート提出で評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講師が作成したテキストを使用する。テキストは初回の授業で配布する。その他必要に応じてプリントを配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	繊維製品の基礎知識	日本衣料管理協会	日本衣料管理協会	
2	繊維製品の品質苦情ガイド	日本衣料管理協会	日本衣料管理協会	
3	繊維製品の苦情処理技術ガイド	日本衣料管理協会	日本衣料管理協会	

必要に応じてプリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	消費科学							担当教員	松永 伸洋 / 永野 暁 / 藤本 昌則 / 金田 哲郎
講義コード	1401360	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	333FSD361								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	品質管理と品質保証	品質管理とは。
第2回	品質管理と品質保証	品質管理の手法
第3回	衣料品などの消費性能と試験方法	耐久性（初期性能の持続性） 丈夫さ、寸法安定性（収縮、伸び、変形）、変退
第4回	衣料品などの消費性能と試験方法	取扱い利便性 洗濯、アイロンがけ、保管
第5回	衣料品などの消費性能と試験方法	快適性（着心地のよさ） 肌触り・風合い、被服圧
第6回	衣料品などの消費性能と試験方法	特殊性能 難燃性、撥水撥油性、紫外線カット性、耐薬品性、制電性、抗菌・防臭性など
第7回	消費者行動とその調査方法	消費者はどのような動機で買い物をするか 商品の分類
第8回	消費者問題と消費者行政	不当景品類および不当表示防止法 家庭用品品質表示法
第9回	経済変化と衣料の流通・消費	繊維産業（製造・流通）の実態 販売業種、販売業態など
第10回	衣料品の消費と消費者苦情	衣料品の消費と損耗過程 家庭洗濯、商業クリーニングの実態と苦情
第11回	衣料品の消費と消費者苦情	消費者苦情の実態と発生要因 品質表示（取扱い絵表示）とサイズ表示
第12回	衣料品の環境問題	廃棄物処理とリサイクルの推進 環境問題に対する製造、加工技術の取り組み
第13回	損傷・形態変化などに関する苦情事例	衣料の破れ、収縮、伸び、しわ、ピリングなどの苦情事例につて、原因の究明と再発予防対策を学習する。
第14回	繊維産業、繊維製品に関する論文の書き方	時宜を得た問題を提示して、簡潔で要旨一貫した論文の書き方を学習する。
第15回	事例問題・論文の添削、解説	全体結果の講評

担当者から一言

講義名	消費者行動論						担当教員	山田 歩
講義コード	1401370	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333MKD281							

#### 授業概要

本講義では、行動経済学と行動デザインの視点から、生活者・消費者を動かすメカニズムについて考えます。「人を動かす」もしくは「人が動く」仕組みと仕掛けを分析し、リアルな社会の中での人びとの振舞いを理解し、またそれを方向づける方法について検討を加えていきます。授業のなかではコンペティションに応募するアイデアを企画するといった作業も含まれます。

#### 到達目標

1. 消費者行動論の基本的な考え方を理解する。
2. それらの知識をもちいて、現実の消費現象、企業のマーケティング活動を理解・分析できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	1) 販促会議企画コンペティションへの取り組み 2) 選択アーキテクチャに関する分析と発表

3回以上欠席した者、課題未提出の者、最終プレゼンテーションを行わない者は評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	選択と誘導の認知科学	山田歩	新曜社	978-4-7885-1618-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	消費者行動論							担当教員	山田 歩
講義コード	1401370	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	333MKD281								

授業計画									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	コミュニケーション・デザイン	コミュニケーション・デザインとは
第2回	コミュニケーション・デザイン	「販促会議企画コンペティション」からコミュニケーション・デザインを考える
第3回	コミュニケーション・デザイン	「販促会議販促会議企画コンペティション」の企画（発表）
第4回	コミュニケーション・デザイン	「販促会議販促会議企画コンペティション」の企画（発表）
第5回	コミュニケーション・デザイン	「販促会議販促会議企画コンペティション」の企画（発表）
第6回	コミュニケーション・デザイン	「販促会議販促会議企画コンペティション」の企画（発表）
第7回	選択アーキテクチャの設計	選択行動の仕組みとデザイン
第8回	選択アーキテクチャの設計	選択行動の仕組みとデザイン
第9回	選択アーキテクチャの設計	選択行動の仕組みとデザイン
第10回	選択アーキテクチャの設計	選択行動の仕組みとデザイン
第11回	選択アーキテクチャの設計	選択行動の仕組みとデザイン（発表）
第12回	選択アーキテクチャの設計	選択行動の仕組みとデザイン（発表）
第13回	説得的コミュニケーション	対人コミュニケーションと消費者行動
第14回	説得的コミュニケーション	対人コミュニケーションと消費者行動
第15回	説得的コミュニケーション	対人コミュニケーションと消費者行動
担当者から一言		

講義名	消費生活論						担当教員	小牧 美江
講義コード	1401380	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133MKD182, 134NUT214, 135LAH207							

#### 授業概要

私たちは、生活に必要な商品(物・サービス)を購入し、消費することで生活を営んでいる「消費者」である。消費生活論は、私たちの生活のあらゆる場面で消費者が行う消費の側面から分析し、その成果をもとに、より良い消費行動を通じて経済活動を活性化し、消費者被害・消費者問題の発生を防止、消費者被害救済のシステムを改善するなど、私たちの生活の改善や社会の改善につなげていく学問である。

本講義では、消費生活を分析する視点として、「法」と「人権」に着目する。「消費」を「契約」(法律行為)という法の視点から分析し直し、そこに登場する「消費者」「事業者」の権利と責任、関係性、消費者トラブルの実情と原因、消費者法・消費者行政が果たす役割、消費者の人権について考えていく。

消費者が、社会問題、倫理、世界情勢、将来世代の状況等、様々な社会状況や課題を考慮して消費行動を選択することで事業者や政府に対して能動的に働きかけを行うことを通じて、消費者自身の権利を守り、公正な事業活動を促進し、その結果として構築される公正で持続可能な社会を「消費者市民社会」という。本講義では、この消費者市民社会の実現をめざす「消費者市民」とはどのような消費者なのかについても、消費者の権利と責任をキーワードとして考え、自らも「消費者市民」としての行動ができるようになることをめざす。また、「消費者市民を育てる消費者教育」のあり方についても考えていく。

講義形式を中心とするが、適宜、プレゼンテーションなどの演習も取り入れる。

#### 到達目標

- (1)消費生活をさまざまな角度から分析するための基礎となる知識を学び、自分の言葉で説明することができるようになる。
- (2)消費者である自分自身の消費生活に関する課題に気づき、その課題解決に必要な情報を収集・分析し、課題を解決しようとする態度を身につけることができる。
- (3)消費者の権利と責任、消費者市民社会について理解し、消費者市民としての行動ができるようになる。
- (4)消費者教育が様々な年齢層・場面等に応じて行われることを学び、自分が消費者教育に関わることができる場面と方法を見つけることができるようになる。
- (5)消費生活をさまざまな側面から分析することを学び、自分が専門に研究を深めたいと考えている分野の学問と消費生活との接点を見つけることができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(1)(4)(5)については、レポート試験を課す。50点満点とし、課題を理解し説明できているか(25点)、自分の学習成果を盛り込み見解を述べているか(15点)、レポート全体が文章として完成しているか(10点)の3基準で採点する。レポート作成方法については、授業中に指導する。
上記以外	50	到達目標(2)(3)については、授業中に提示する小レポートの成果(20点満点)と、課題レポートの発表(プレゼンテーション)の成果と発表方法(30点満点)を採点する。レポート作成・発表方法については、授業中に指導する。

全15回のうち5回以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業外においても、消費者庁、国民生活センター、適格消費者団体等のウェブサイトで公開されている消費者被害情報など、消費者に関する情報や報道に注目し、自身の消費者としての日常生活における行動を点検する姿勢を身に付けてほしい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新しい消費者教育 - これからの消費生活を考える	神山久美・中村年春・細川幸一編著 / 日本消費者教育学会関東支部	慶應義塾大学出版会	9784766423075
2				
3				

授業中に配付するレジュメ・資料と共に用いる。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	18歳から考える消費者と法・第2版	坂東俊矢・細川幸一	法律文化社	9784589036124
2	ジェンダーで学ぶ生活経済論・第2版	伊藤純・斎藤悦子	ミネルヴァ書房	9784623073542
3	消費者政策 - 消費生活論・第5版	鈴木深雪	尚学社	9784860310806

この他、授業中に参考図書を通覧紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	心理学基礎						担当教員	後藤 崇志
講義コード	1401540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD105, 134NUT106, 135PSY201							

#### 授業概要

現代心理学の基本的なテーマについて解説する。人間の行動の仕組みや行動の予測、制御のメカニズム、人間発達の原理や人格形成の理論などのテーマをとりあげる。心理学的なアプローチにより人間を理解しようとするための基礎的な知識や考え方を身に着けることを目的とする。

#### 到達目標

- (1) 人の思考や行動、社会生活などを支える心の仕組みの基礎について理解を深める。
- (2) 人の心の仕組みを明らかにし、社会に活かそうとする科学的なアプローチについて理解を深める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	授業でとりあげたトピックについての課題認識および心理学の多様な内容と方法への理解によって評価する。
レポート課題		
上記以外	40%	授業の内外で提出を求める課題によって、受講者なりの理解や問題設定ができているかを評価する。

授業時に実験や質問紙調査などの心理学的な研究手法の体験学習をとりいれることがあるので、積極的な参加を求める。

#### 授業外学習

授業の前には、教科書の該当章を読み、自分なりの理解と問題設定を行う。  
授業の後には、参考書や授業中に紹介する資料・ウェブサイト等を読み、授業内容についてより深く理解できるように努めることが望ましい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめての心理学概論	古見文一・小山内秀和・樋口洋子・津田裕之(編)	ナカニシヤ出版	978-4-7795-1361-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各回のテーマごとに、適宜、授業中に参考書を紹介する

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	心理学基礎						担当教員	後藤 崇志
講義コード	1401540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD105, 134NUT106, 135PSY201							

### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	心理学とは	心理学の歴史や、領域・研究手法の多様性について学ぶ。
第2回	感覚・知覚	人が外界からの刺激をどのように受け取っているかを学ぶ。
第3回	記憶・思考	記憶・思考に関わる諸現象と、それらの現象を支える心の仕組みについて学ぶ。
第4回	学習	生物の行動が経験を通じて変化する仕組みの基礎について学ぶ。
第5回	動機づけ	行動を動機づける心の仕組みについて学ぶ。
第6回	言語	人の言語活動を支える心の仕組みについて学ぶ。
第7回	感情	感情が喚起される仕組みや、機能について学ぶ。
第8回	人格（パーソナリティ）	人の個人差を記述し、理解しようとする心理学の試みについて学ぶ。
第9回	神経・生理	人の心の仕組みを支える神経活動・生理反応の仕組みについて学ぶ。
第10回	集団・社会	集団・社会生活を行う中で生じる現象を理解しようとする心理学の試みについて学ぶ。
第11回	発達	発達に伴って変化していく人の心の特徴について学ぶ
第12回	進化	進化の視点から、ヒトの心の理解に迫るアプローチについて学ぶ。
第13回	心理臨床	心の病理を理解し、治療に役立てようとする心理学の試みについて学ぶ。
第14回	教育	教育の現場を理解し、改善に活かそうとする心理学の試みについて学ぶ。
第15回	まとめ	講義で扱った様々な概念の関係性について俯瞰しつつ、発展的な学習に向けた紹介を行う。

担当者から一言

講義名	生活経営論						担当教員	山田 歩
講義コード	1401560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333MKD282, 234NUT371, 335LAH308							

#### 授業概要

この授業では、私たちを取りまく生活環境を学び、現在そして将来、私たちの生活をよりよくマネジメントする力とそれらを改善する力を身につけることを目標とします。身近な生活課題をとりあげると同時に、ソーシャル・デザインの視点から展開されている様々なコミュニケーション施策をみていくことで、現在と将来の自分の生活を見つめ直し、それらをよりよいものに設計することに役立ててもらいたいと考えます。授業では受講生みずからも課題を発見し、それを解決するアイデアを考えてもらいます。

#### 到達目標

1. 私たちを取りまく生活環境を理解しているか
2. 社会や生活者が抱える課題を発見し、それらを解決する力を身につけているか

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	社会や生活者が抱える課題を発見する力、また、それらを解決する力について評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アイデアは地球を救う。希望をつくる仕事 ソーシャルデザイン	ソーシャルデザイン会議実行委員会	宣伝会議	
2	Communication Shift	並河進	羽鳥書店	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	生活造形基礎演習						担当教員	南 政宏 / 富原 仁美
講義コード	1401580	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	133LVD202							

#### 授業概要

あらゆるデザイン活動の基礎となる「観察力」「表現力」「想像力」を、色彩・立体構成などの制作を通して学ぶ。思考から制作に至るまでのプロセスや柔軟な発想と表現力を身につける。  
 平面色彩構成では、テーマに沿って、色を混色し、選択し、配置する。  
 立体色彩構成では、平面で得た技術を立体へ展開し、空間を創ることを学ぶ。  
 石膏表現では、テーマを立体で表現し、削ることから生み出す形態操作、造形手法の基本技法を習得させる。  
 最終課題では、それまでに学んだことの集大成として、アイデアを発想し、複合的に思考し、形や色へ落とし込む作業をする。  
 確かな基礎造形力を身につけることで、その後の専門性を最大限に高めてゆくことを目指す。

内容は変更になる可能性がある。

#### 到達目標

今後、上位のデザイン演習に対応できるよう基礎力を身につける。(1)色彩感覚、(2)発想力、(3)造形力・構成力(4)表現力を習得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	毎回の講評時の採点の合算により評価。

3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。未提出がある場合は不認定。

#### 授業外学習

演習課題の多くは授業時間外での作業となる。計画的な時間の使い方が必要である。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

カメラ(スマホ可)、アクリルガッシュ、スケッチブック、クロッキー帳、ペンシルホルダー、30度カッター、カッターマット、スチのり、彫刻

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

絵の具の使い方や、カッターの使い方に関する基礎的な能力がある方が望ましい。

#### 履修資格

講義名	生活造形基礎演習						担当教員	南 政宏 / 富原 仁美
講義コード	1401580	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	133LVD202							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス シンボルマーク出題	シンボルマークをデザインし、表現する。 エスキース
第2回	シンボルマーク講評	シンボルマークをデザインし、表現する。
第3回	ワイヤーによるスケッチ講評	ワイヤーを用いてスケッチをする。
第4回	立体構成	立体を構成する。
第5回	平面色彩構成 色の帯講評	色彩構成をする。
第6回	ポスターのデザイン エスキース	与えられたテーマについて調査し、ポスターをデザインする。
第7回	ポスターのデザイン講評	デザインしたポスターを講評する。
第8回	スチレンボードによる立体構成	スチレンボードの切り方を学ぶ スチレンボードを用いて立体を構成する。
第9回	粘土によるテーマの表現	粘土を使って与えられたテーマを表現する。
第10回	石膏によるテーマの表現 講評	石膏を使って与えられたテーマを表現したものを講評する。
第11回	色彩構成と立体構成の複合課題 スタディー	色彩構成と立体構成の複合課題
第12回	色彩構成と立体構成の複合課題 スケッチ	色彩構成と立体構成の複合課題
第13回	色彩構成と立体構成の複合課題 エスキース	色彩構成と立体構成の複合課題
第14回	色彩構成と立体構成の複合課題 エスキース	色彩構成と立体構成の複合課題
第15回	色彩構成と立体構成の複合課題 講評	色彩構成と立体構成の複合課題で完成作品を講評する。
担当者から一言		
進行状況や休日の関係で授業内容は変更になる場合もある。		

講義名	生活素材論						担当教員	三宅 肇
講義コード	1401620	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233FSD261							

#### 授業概要

私達消費者の立場で衣服を着用する場合、1. デザイン 2. 色柄 3. 着心地 が悪くなければ気に入る。しかし、それだけでよいのだろうか。デザインしたり、制作したりする立場では、素材をよく知り、それを十分に生かす使い方ができる能力が要求される。そこで、本講義では、生活に多く用いられる素材である繊維に焦点をあて、繊維の種類、構造、性能の概要を解説する。さらに、素材への付加価値の付与として、仕上げ加工、改質加工等の原理と実際について述べる。ついで、高性能素材としての繊維の最近の進歩について触れ、新しい技術開発を紹介し、素材についての理解を深める。

#### 到達目標

- (1) 商品を開発する上で、「デザイン」と「素材（材料）」の両立の必要性、重要性を知ることができる。
- (2) 衣服などの繊維製品の素材がどのような意味を持って使われているのかを知ることができる。
- (3) 繊維原料から衣服になるまでの工程を理解することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	講義内容から特に重要な項目を出題。採点の80/100とレポート点を合算して成績評価を行う。
レポート課題	20	出題テーマについて、講義で学んだ知見が生かされているかなどの観点から採点を行い、定期試験点数と合算して成績評価を行う。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない

#### 授業外学習

身の回りにある素材を題材にした講義です。予習や復習を積極的に行って頂く必要はありませんが、講義で習ったことを日常生活の中で意識することが最大の復習になります。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	生活デザイン学外演習						担当教員	学科教員/面矢 慎介/印南 比呂志/ 宮本 雅子/森下 あおい/南 政宏/ 佐々木 一泰/藤木 庸介/横田 尚美/
講義コード	1401630	単位数	2	開講期	通年集中	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233LVD207-C							

#### 授業概要

地域や社会において、よりよい生活環境を実現するために何が問題なのかを明らかにする。問題に取り組む意識や立場、有効な手法を議論し、その解決方法を検討し、レポートの作成、具体的な提案や発表、制作等を行う。授業は具体的な課題やテーマに即し、フィールドワークを中心として行われる。

#### 到達目標

地域、社会に関わる問題について専門的視点から分析、考察し、解決・提案できる総合的な生活デザイン能力の習得をめざす。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	フィールドにおける演習、およびレポート等の提出、発表などにもとづき評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	木匠塾（生活デザイン）						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1401635	単位数	2	開講期	通年集中	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233RED22							

#### 授業概要

日本は国土の約7割を森林が占めている森林国であり、日本には木を生活の中に活かしコントロールする技術がある。しかし現在日本の森林は大きな問題を抱えている。そこで、木-山-木造について、広い視野に立ち、実地に学ぶことを目指す。ここでは木材等の生物材料を中心として用いることで木材の知識・技術・歴史背景などを学び、構築物を学生主体で設計・制作することによって、素材の特性、利用方法、加工技術、木組み、ディテール（収まり）などを総合的に学習する。活動拠点となる地域は、加子母（岐阜県中津川市）、川上村（奈良県）、多賀町（滋賀県）の中から選択する。主な実施製作の期間は、夏季2週間程度を予定しているが、活動拠点によっては、その他の時期でも活動を行う。制作のための設計は、地元の方々と協力交流を行いながら進め、指導も受けることができる。また木匠塾には、他大学の学生の参加もあり、大学を超えた活動も期待できる。

#### 到達目標

- (1)木造の知識・技術・歴史背景を理解し、基本的な設計技術を習得する。
- (2)地域に必要とされる構築物の設計を提案できる。
- (3)木材加工のための工具を巧みに使用できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	成績評価は、設計と制作での取り組み態度（パフォーマンス）によって評価し、到達目標で示す(1)については30%、(2)については30%、(3)については40%で評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	生活デザイン論						担当教員	学科教員/面矢 慎介/印南 比呂志/ 宮本 雅子/森下 あおい/南 政宏/ 佐々木 一泰/藤木 庸介/横田 尚美/
講義コード	1401640	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233LVD201							

#### 授業概要

生活デザイン学科では道具・住居・服飾という3分野を中心に学んでいる。この授業では生活におけるデザインの役割について、各分野それぞれにテーマを設け、生活の中にあるさまざまなデザインや知恵、技術を拾い出す。また、これからの生活デザインと各分野のあり方について考察を行い、ひとつの分野からは見えにくい横断的な視点を養う。また各分野ごとにゲストを招聘して講義を行う。

#### 到達目標

- (1) 生活におけるデザインの役割という視点での知識を深め、その背景、価値を理解できるようにする。
- (2) 生活に関わるデザインの各分野について基礎的な知識を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	各回レスポンスペーパーにより評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

事前に各講義テーマで発表される事前情報を収集し、講義後生活デザインのあり方についての考察を行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

なし

#### 履修資格

講義名	生活デザイン論						担当教員	学科教員/面矢 慎介/印南 比呂志/ 宮本 雅子/森下 あおい/南 政宏/ 佐々木 一泰/藤木 庸介/横田 尚美/
講義コード	1401640	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233LVD201							

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	授業概要・ガイダンス	生活デザイン論の概要
第2回	マーケティング-1	マーケティング分野について
第3回	道具-1	道具分野について1
第4回	道具-2	道具分野について2
第5回	道具-3	道具分野について3
第6回	道具-4	道具分野について4
第7回	学外見学	住まいの設備を見学
第8回	住居-1	住居分野について1
第9回	住居-2	住居分野について2
第10回	住居-3	住居分野について3
第11回	住居-4	住居分野について4
第12回	服飾-1	服飾分野について1
第13回	服飾-2	服飾分野について2
第14回	服飾-3	服飾分野について3
第15回	まとめ	生活デザイン論まとめ
担当者から一言		

講義名	生活デザイン論演習						担当教員	学科教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1401690	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	333LVD302							

#### 授業概要

学生各自の卒業制作・卒業論文に向けて、生活デザインのそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、研究方法、制作方法、調査方法などを修得し、必要な文献や資料を集め、また必要な現地調査などを行うなど、各自の課題や問題に応じて演習を行う。

#### 到達目標

卒業研究で取り組むべき課題の意義について述べることができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	調査・研究中間報告、課題発表、レポート・制作物等により総合的に判断する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	生活デザイン論演習						担当教員	学科教員 / 面矢 慎介 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 南 政宏 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 /
講義コード	1401701	単位数	3	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	333LVD303							

#### 授業概要

学生各自の卒業制作・卒業論文に向けて、生活デザインのそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、研究方法、制作方法、調査方法などを修得し、必要な文献や資料を集め、また必要な現地調査などを行うなど、各自の課題や問題に応じて演習を行う。

#### 到達目標

- (1) 卒業研究で取り組む課題領域についての知識を深める。
- (2) 課題を達成するための研究方法、制作方法、調査方法などを修得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	調査・研究中間報告、課題発表、レポート、制作物、最終発表等により総合的に判断する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	卒業研究・制作／論文（生活デザイン）						担当教員	学科教員／面矢 慎介／印南 比呂志／ 宮本 雅子／森下 あおい／南 政宏／ 佐々木 一泰／藤木 庸介／横田 尚美／
講義コード	1401802	単位数	4	開講期	前期研究	授業種別	卒業	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

卒業制作と卒業論文の課題については、生活デザイン専門分野の中から学生自身が担当教員の指導の下に決定し、それぞれの課題に従って制作あるいは論文の作成を行う。卒業制作を行う学生は、制作の他にその内容を説明し、補強する研究報告を同時に提出しなければならない。研究は以下のような手順を進める。  
担当教員の指導により、卒業研究のテーマをかためて研究をすすめる。  
研究発表会で、卒業研究の中間発表を行う。

#### 到達目標

各自がそれぞれ課題としたテーマについて自信を持って発表できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究の進捗状況、研究中間発表の結果によって合否を判定する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導教員が適宜指示する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	卒業研究・制作／論文（生活デザイン）						担当教員	学科教員／面矢 慎介／印南 比呂志／宮本 雅子／森下 あおい／南 政宏／佐々木 一泰／藤木 庸介／横田 尚美／
講義コード	1401805	単位数	4	開講期	後期研究	授業種別	卒業	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

卒業制作と卒業論文の課題については、生活デザイン専門分野の中から学生自身が担当教員の指導の下に決定し、それぞれの課題に従って制作あるいは論文の作成を行う。卒業制作を行う学生は、制作の他にその内容を説明し、補強する研究報告を同時に提出しなければならない。最終的には卒業研究の成果を発表する展示および口頭発表会を開催し、成果をまとめた卒業研究報告集を刊行する。

研究は以下のような手順で進める。

担当教員の指導により、また前期研究発表会での学科教員の助言に沿って、研究をすすめる。

設定された期限までに、規定の内容の論文（作品）を提出する。

展示・口頭発表会、卒業研究報告集で成果を発表する。

#### 到達目標

各自がそれぞれ課題としたテーマについて自信を持って発表できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	途中の進捗状況、最終審査の結果によって合否を判定する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導教員が適宜指示する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	テキスタイルデザイン						担当教員	内丸 もと子
講義コード	1402206	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

この授業ではテキスタイルデザインの基礎的スキルを身につけることを目的とする。テキスタイル素材は加工方法によって多彩にその表情を変えることができる。実際の素材を見ながらテキスタイルデザインの後加工のさまざまな表現を学ぶ。さらにコンセプト作成から製品デザインへの落とし込み等を学び、実際に企画立案をすることによって、より実践的なテキスタイルデザインの企画提案方法を体験する。また、循環型社会に向けての繊維リサイクルのあり方、エコデザインについても考察していく。

#### 到達目標

- (1) テキスタイルデザインの過程とさまざまな技法を理解することができる。
- (2) テキスタイルデザインを企画立案、プレゼンテーションできる。
- (3) 循環型社会に向けて繊維製品のあり方について考察できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	レポート及び授業中でのbuild up 課題
上記以外	50	最終課題(プレゼンテーション)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としません。

#### 授業外学習

興味があるもの素敵だと感じるものを日々スケッチしてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要なプリントは授業中に配布します。

#### 前提学力等

Illustrator及びPhotoshopのある程度の知識やスキルがあることが望ましい。最終課題では、PowerPointまたはKeynote使用。

#### 履修資格



講義名	テキスタイルデザイン						担当教員	内丸 もと子
講義コード	1402206	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション テキスタイルと素材	それぞれの繊維素材の原料が何なのか? どこからくるのか? 素材の総まとめ
第2回	テキスタイルの後加工	実際のテキスタイル素材でさまざまな後加工を学ぶ。
第3回	テキスタイルの後加工	実際のテキスタイル素材でさまざまな後加工の表現方法を学ぶ。
第4回	素材とデザイン	ブランド紹介。 柄を作ってみる。
第5回	テキスタイルプリント	テキスタイルデザイン作成での基礎的なりピート方法を学ぶ。
第6回	テキスタイルプリントと色彩によるイメージ表現	色彩によるデザインイメージの変換を学ぶ。
第7回	トレンドとデザイン提案	世界の素材トレンドを発信する展示会。 テキスタイル提案事例。
第8回	繊維リサイクル	SDGs、循環型社会に向けて、繊維リサイクルのあり方を考察。 また、ものを作る側としてエコデザインを考える。
第9回	コンセプトの作成	デザイン提案の課題
第10回	テキスタイル素材のデザイン	デザイン提案の課題
第11回	テキスタイル製品へのシミュレーション	デザイン提案の課題
第12回	提案の構成	デザイン提案の課題
第13回	提案のブラッシュアップ	デザイン提案の課題
第14回	提案のブラッシュアップ	デザイン提案の課題
第15回	まとめ・プレゼンテーション	デザイン提案の課題（最終課題）のプレゼンテーション
担当者から一言		

講義名	デッサン法						担当教員	富原 仁美
講義コード	1402260	単位数	1	開講期	前期	授業種別	実技	
ナンバリング番号	133LVD201							

#### 授業概要

造形表現の基礎となる描写力を習得する。形態や色彩などの造形要素を理解し、それらを正確に描写表現するための考え方や技術を学ぶ。全回実技の授業。

#### 到達目標

基本的～複雑な形態を空間的に把握し、平面に正確に描写することが出来る。  
遠近感・空間・明暗・素材感などの造形要素を理解して、それらを的確に描写表現することが出来る。  
色彩を体系的に理解することが出来る。また求められる色を絵具を用いて作り出すことが出来る。  
他者への伝達ツールとしての描写表現が出来る。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標 ~ 及び、授業の取り組み姿勢、各20%。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラーコーディネーター入門 色彩	大井義男・川崎秀昭	日本色研事業	
2				
3				

ガイダンス後に校内購買部で購入

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	道具計画論						担当教員	印南 比呂志
講義コード	1402290	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333TLD243-C							

#### 授業概要

住環境の実態を背景に、人間が関わってきた道具類を毎週ひとつの分野にテーマを絞って、その製品をとりあげて講義をすすめる。その製品の歴史、市場、変遷、社会的価値についてさまざまな視点から考察を試みる。また、ものづくりとしての製品開発における企画設計プロセス、市場での製品流通やマネージメントに至るまでの実際を学ぶ。テーマによっては外部講師として専門家の招聘して講義を行う。

#### 到達目標

道具という視点で世の中に存在するさまざまな製品、ブランド商品などの背景、価値を理解できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	毎回の講義でのレスポンスシート、中間レポート、最終レポート課題により評価する。
上記以外	20	即日設計課題や、調査課題などの宿題を適宜課す。

#### 授業外学習

事前に毎週の講義テーマに関する事前情報を収集しておく。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生きのびるためのデザイン	ヴィクター・パパネック	晶文社	
2	デザインのイデオロギーとユートピア	ゲルト・ゼレ	晶文社	
3	ものが生まれる産地、ものを輝かせるデザイン	影山和則	ラトルズ	

#### 前提学力等

美術史、デザイン史、建築史についての基本的な学力を要する。

#### 履修資格

講義名	道具計画論							担当教員	印南 比呂志
講義コード	1402290	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	333TLD243-C								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション・概論	道具という言葉の概念について考える。
第2回	G Kの世界	日本における、ものの民主化と戦後のプロダクトデザインの歴史を考える。
第3回	本について	造本、装丁、ブックデザインについて考える。 ブックデザイナーの鈴木成一、造本作家のケルスティン・ティニ・ミウラ氏らの作品を見る。
第4回	刃物の世界について	日本の刃物の歴史と現在。イタリアのサルディニア島の刃物職人への生活について。
第5回	自動車について	FIAT社の歴史と車産業の変遷をデザインを中心に見て行く。戦後日本の自動車産業の変遷についても同様にみる。
第6回	パッケージデザインについて	松永真の生み出した商品デザインと、梅原真の地域デザインと商品について。
第7回	住むための道具について	即日設計課題（最小限住宅）
第8回	カメラと時計	アンティークカメラとアナログ時計（機械式道具の世界）について。
第9回	情報とサイン	環境とインテリアグラフィックについて。廣村正彰氏の作品を中心に。
第10回	椅子について	毎年のミラノサローネの傾向について。外部から専門のデザイナーなどを招聘して授業を進める。
第11回	木工職人の道具の世界	伝統的な職人道具について。外部から専門の職人などを招聘して授業を進める。
第12回	革製品について	鞆・靴・革職人の世界について。 外部から専門の職人などを招聘して授業を進める。
第13回	オーディオについて	ピュアオーディオの世界について。音とデザインの世界を見る。
第14回	自転車について	通勤用としての移動具の世界
第15回	総論（レポート課題）	道具に対する知見をレポートにする。

#### 担当者から一言

実際の道具を手にとりて使用したり、感じたりして授業を進める。

講義名	道具デザイン演習						担当教員	南 政宏 / 佐藤 延弘
講義コード	1402300	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233TLD241							

#### 授業概要

半期を通して、デザインプレゼンテーションの基礎を習得する。

今後、住居、服飾を目指す学生にとっても、illustrator、photoshopでプレゼンパネルを制作する技術が身に付くので卒業研究・制作で役立つ内容になっている。

前半 南担当分

道具（プロダクト）デザインやブランディングデザインの基礎となるアイデア、企画立案から、モデル製作、図面制作、ロゴなどのグラフィックデザイン、写真撮影、プレゼンテーションパネルの製作までの基礎を習得する。

#### 到達目標

道具デザイン、プロダクトデザイン、パッケージデザイン、ブランディングデザインなどのプレゼンテーションの基本的な技術を習得する。

- (1)商品のストーリー/ブランドコンセプトとは何か理解を深め、一般的な理解と自分の考えを説明できるようになる。
- (2)商品を製造・販売するために、どのような技術や知識が必要かを考え、自分で調べることができる。
- (3)生産数や製作環境に適した材料や加工技法についての知識を深め、実践することができる。
- (4)自分の作品（商品）の魅力や、多くの人に正しく伝える表現方法を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	課題作品	「最終課題の完成度の評価50%」+「各回レポート及び提出物の評価 30%」+「製作過程での問題解決能力の評価10%」+「授業への参加意欲の評価10%」を基本。各回提出課題は未完成であっても考えが見える状態であれば必ず提出すること。レポート（写真）は次回授業の開始ま

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。  
課題が締め切りに間に合っていないものは、評価の対象としない。

#### 授業外学習

身の回りのモノや風景、デザインされた物品へ関心を持つ。できるだけ多くの時間を手を動かす時間に費やして下さい。また、他の人の考えや作ったものに

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Sketching	Koos Eissen (著), Roselien Steur (著)	Bis Pub	9063691718
2				
3				

#### 前提学力等

Adobe illustratorとphotoshopを使用します。各自用意か学部情報室のパソコンを使用。

#### 履修資格



講義名	道具デザイン演習						担当教員	印南 比呂志 / 南 政宏 / 佐々木 一泰
講義コード	1402310	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233TLD341							

#### 授業概要

前期授業の道具デザイン演習 で習得した技術、技法を基礎として、製品デザイン開発の方法をさまざまなものづくりの業界の現場に関わりながら学んでいく。

架空もしくは実際の企業の商品計画やCI（コーポレートアイデンティティ）計画などの実践的な課題を通して進めていく。またこれらの成果をわかりやすく表現するための提案パネルや模型などの制作を通して、プレゼンテーションの方法も学んでいく。商品開発からブランディングまで含めた課題が多くなる。

産学連携のプロジェクトや、日本の第一線で活躍するプロダクトデザイナーをお招きしての講評会などを行う。

#### 到達目標

- (1)ものづくりの現場調査の方法。つまりインタビューやドキュメンテーションの方法を修得する。
- (2)デザイン提案物の簡単なモデリングやパネルプレゼンテーション技術を修得する。
- (3)コンピュータのを使ってプレゼンテーションできる。（パワーポイント、CGなど）

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	提出課題による評価：50%
上記以外	50	課題作業のプロセスにおける取り組みによる評価50%

3週～4週毎にデザイン制作課題を課す。  
授業時間数の1/3以上欠席したものは評価対象にしない。

#### 授業外学習

時間外での課題制作もある。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	編集デザインの教科書	工藤強勝監修	日経デザイン刊・日経BP社	978-4822235048
2				
3				

#### 前提学力等

Adobe illustratorとphotoshopを使用します。デジカメも使用します。  
各自で作りたいものに合わせて素材調達から行う課題がある。

#### 履修資格



講義名	道具デザイン演習							担当教員	印南 比呂志 / 南 政宏 / 佐々木 一泰
講義コード	1402310	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	233TLD341								

授業計画									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル							概要	
第1回	オリエンテーション 道具演習課題1							道具デザインに関するテーマの出題	
第2回	道具演習課題1							エスキース, スケッチ, モデリング	
第3回	道具演習課題1							写真撮影 プレゼンボードの制作	
第4回	道具演習課題1							講評	
第5回	道具演習課題2							外部講師によるテーマの出題 デザインサーベイ, デザインプロセス, エスキース, スケッチ	
第6回	道具演習課題2							エスキース, スケッチ, モデリング	
第7回	道具演習課題2							エスキース, スケッチ, モデリング	
第8回	道具演習課題2							エスキース, スケッチ, モデリング	
第9回	道具演習課題2							写真撮影 プレゼンボードの制作	
第10回	道具演習課題2							写真撮影 プレゼンボードの制作	
第11回	道具演習課題2							講評 外部講師による講評会	
第12回	道具演習課題3							エスキース, スケッチ, モデリング	
第13回	道具演習課題3							試作の完成	
第14回	道具演習課題3							プレゼンテーションパネルの作成	
第15回	道具演習課題3							講評	

担当者から一言									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

講義名	道具デザイン演習						担当教員	面矢 慎介 / 印南 比呂志
講義コード	1402320	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	333TLD341-C							

#### 授業概要

道具の計画・デザインにおいて必要な知識・考え方と技術を修得する。道具デザイン演習 ~ で学んだ技術と知識を基礎として、生活関連分野の製品およびそれらを含んだ生活空間についての具体的な計画・デザインの課題を課す。

#### 到達目標

(1) 基礎的調査・構想、(2) 企画立案、(3) 造形、(4) 立体モデル制作、(5) プレゼンテーションパネル制作、(5) プレゼンテーションまでの作業を修得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	課題作業のプロセスにおける調査報告(20%)
上記以外	80	完成提出作品とそのプレゼンテーション(80%)

企業や地域からの要望による課題や、コンペなどを中心に行うため、評価は外部審査、クライアント審査なども考慮して総合的に行う。

#### 授業外学習

作業は授業中では完成しない。学生には課題の進行に沿って授業時間以外での作業が要求される。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の課題に適した資料等を指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の課題に適した資料等を指示する。

#### 前提学力等

道具デザイン演習 ・ をすでに履修していること。

#### 履修資格



講義名	デジタルデザイン演習 A				担当教員	印南 比呂志 / 森下 あおい / 小杉 美穂子 / 竹岡 寛文	
講義コード	1402331	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号							

#### 授業概要

CADや画像処理，ドローイングソフトなどを用いて，デジタルデザインのリテラシーから操作技術の基礎から応用までを学ぶ。

#### 到達目標

PCを用いたデザイン作業の知識を深める

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	授業中に貸した課題を次週までに復習完成させるなど、技術の習得度を評価する。
上記以外	50	授業中の取り組み、態度などを評価する。

#### 授業外学習

授業における課題の理解度、および毎回の授業内で作成する課題を持ち帰り復習して次週の提出する。基本的に授業内で終了できる程度の課題内容による演習を行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	デジタルデザイン演習 B				担当教員	佐々木 一泰 / 高杉 昭吾	
講義コード	1402332	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号							

#### 授業概要

CADや画像処理，ドローイングソフトなどを用いて，デジタルデザインのリテラシーから操作技術の基礎から応用までを学ぶ。

#### 到達目標

PCを用いたデザイン作業の知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	授業中に課した課題を次週までに復習完成させるなどにより、技術の習得度を評価する。
上記以外	50	授業中の取り組み、態度などを評価。

#### 授業外学習

授業における課題の理解度，および毎回の授業内で作成する課題を持ち帰り復習精査して次週に提出し評価。基本的に授業時間内に終了できる程度の課題内容による演習を行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	cinema4D Beginners	阿部司	BNN	978-4-86100-850-4
2				
3				

テキスト：なし。適宜プリントを配布する。指定図書：授業内に適宜紹介する。参考書：授業内に適宜紹介する。

#### 前提学力等

前期・後期を通じてで3分野のデジタルスキルを網羅する。

#### 履修資格



講義名	道具デザイン史/						担当教員	面矢 慎介
講義コード	1402340	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333TLD242							

#### 授業概要

近代以降における道具デザインの変容についての解説。近代以降の工業化によって、生活環境を構成する道具は大きく変容してきた。従来のデザイン史が歴史上有名なデザイナー個人やグループの造形思想に重きをおいて造形上の変容を説明してきたのに対して、本講義では、近代以降に登場した家庭用生活機器・生活道具を中心に、それらの成立・発展・普及の経緯やデザインの変容について、経済的・社会的・文化的・技術的背景との関係から考察する。

#### 到達目標

道具のデザインが恣意的な外形上の操作ではなく、産業社会における生産と生活の形態と深く結びついた活動であることを理解できる。(1) 授業内容を理解し、ポイントをまとめ、自分なりの意見を述べるができる。(2) 授業内容に関連する文献を読み、文献中の歴史的事象と現代の事象とを比較考察することができる。(3) 1つの道具を事例としてそのデザインの歴史的変化について調べ、結果を文章にまとめることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	文献レポート(中間レポート)と期末レポート 成績評価への寄与率は、文献レポート20%、期末レポート60%
上記以外	20	コメントカード

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。

#### 授業外学習

毎回、授業終了時にコメントカードを回収する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	欲望のオブジェ	アドリアン・フォーティ	鹿島出版界	
2	カラー版・世界デザイン史	阿部公正ほか	美術出版社	978-4-568-40084-7 C3070
3				

#### 前提学力等

「近代デザイン史」をすでに履修していることが望ましい。

#### 履修資格





講義名	道具デザイン論/						担当教員	印南 比呂志 / 南 政宏
講義コード	1402350	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333TLD241-C							

#### 授業概要

プロダクトをデザインして販売できる商品としていくためには、様々な条件を克服していかなければならない。企業側にある論理、販売側にある論理、デザイナーが実現したいイメージ。それらをどのように乗り越えて商品として実現していくのか、デザイナーと、メーカーの実務的なやり取りを通しながらそのプロセスを追いながら解説する。商品について深く考察することでメーカーとユーザーの視点から道具について考察する。

#### 到達目標

商品をとるべく経済の仕組みや流通、販売、技術、広告、ブランディングについての知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	テーマに対して、オリジナリティのある内容で書かれているか。
上記以外	50	毎回のレスポンスペーパーによる。

必要に応じて小レポートを課する。授業時間数の1/3以上欠席したものは評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	人間尺度論	戸沼幸市	彰国社	3052-300295-3081
2	safe:design takes on risk	paola antonelli	The Museum of Modern Art	0-87070-580-6
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	統計学基礎						担当教員	澤山 郁夫
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203							

#### 授業概要

最近ではパソコンやソフトウェアのおかげで、数式を意識しなくとも気軽に統計をあつかえるようになってきた。にもかかわらず、いざデータを手にとると、どこから手をつけていいかとまどう人が多い。そもそもなぜそのデータに対して統計的処理を行なう必要があるのか。データにはどんな性質があるか。どんなタイプのデータにはどんな手法がふさわしいのか。どんな手法を使うとどんな結果が引き出されるのか。本講義では、以上のような問題を念頭に置きながら、標本や母集団などの基本的概念から出発して、推定や検定、検証的アプローチと探索的アプローチの基本的な知識を扱う。

#### 到達目標

- (1)母集団と標本の概念を身につける。
- (2)相関を含む記述統計量の基本的な使い方を習得する。
- (3)推定と検定の基本手順を習得する。
- (4)日常生活で用いられる統計学的な考えに関心を持ち、検証する態度を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	小テストまたはレポート(随時): 各回で扱った統計学的知識を理解できているかを問う。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本	吉田 寿夫	北大路書房	978-4762821257
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	統計学基礎							担当教員	澤山 郁夫
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	統計学は(何の)役に立つのか?
第2回	母集団と標本	サンプリングによって世界を把握するという考え方について。記述統計学と推計統計学の違い。
第3回	分布を考える	分布の代表的な形。偶然のできごとはいかに分布するのか。二項分布について。
第4回	表とグラフ、位置とばらつき	数値計算の前に、データを視覚化し、整理するだけで分かることは何か。位置とばらつきについて。
第5回	記述統計(1)	平均と標準偏差、その表現法。
第6回	記述統計(2)	中央値と四分位数、箱ひげ図。
第7回	正規分布とは何か	正規分布の主な性質
第8回	推定	推計統計学とは何か。中心極限定理と信頼区間。
第9回	比較と検定	仮説検定法、帰無仮説の考え方、平均の比較。
第10回	比較と検定(2)	さまざまな検定法: 平均の差の検定、二乗検定など。
第11回	分散分析と多重比較	要因と水準、対応の考え方。一元分散分析の基礎。多重比較の基礎。
第12回	相関と回帰(1)	記述統計としての相関。相関係数の読み方。
第13回	相関と回帰(2)	推計統計としての回帰。モデルを立てること。「実現値 = 期待値 + 誤差」という考え方。
第14回	さまざまな統計的手法	パラメトリック/ノンパラメトリック検定のいろいろ。多変量解析の紹介。
第15回	まとめ	科学における統計学の位置づけ。統計の用いられ方。統計の誤用について。

担当者から一言

講義名	人間工学						担当教員	中村 孝之
講義コード	1402510	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233LVD203							

#### 授業概要

社会の変化に伴って生じる、人間と、製品や環境のあり方のギャップを埋めて行くための手がかりとなるのが人間工学である。ここでは、生理、心理、身体、そして行動など、人間の基本的特性を理解し、プロダクト、インテリア、建築などの生活環境構成要素を取り上げて、安全性や使いやすさにおいて、人間との最適な関係を考えた計画やデザインを行う手法について学ぶ。授業計画について、時期は前後することがある。

#### 到達目標

- (1) 人間工学の目的とするところを理解し、基本的な知識を習得する
- (2) 生活環境やプロダクト製品に関する、人間生活工学の視点を養う
- (3) インテリアやプロダクトデザインの際に、人間からのアプローチができるようになる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、記述試験を行う
レポート課題	60%	到達目標(2)(3)について、レポートを作成する
上記以外		

3分の一以上欠席した場合、評価の対象としないことがある。

#### 授業外学習

配布プリントにより授業を行う。授業中にノートをとることで短期記憶をつくり、復習することで長期記憶にする。そして設計やデザインの場面で応用することによって身につくものである。参考書を紹介するので、1冊は読むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初めて学ぶ人間工学	岡田明、後藤 義明、八木 佳子、山崎 和彦、吉武 良治	理工図書	
2	ユーザーインターフェイスの実践	山岡俊樹、岡田明	海文堂出版	
3	ユニバーサルデザインの教科書[増補改訂版]	中川聡	日経BP社	

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	人間工学						担当教員	中村 孝之
講義コード	1402510	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233LVD203							

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス（人間工学とは、人間工学の役割）	人間工学は人間から考えた製品や環境をつくる手段であり身近にあることを知る。
第2回	人間工学の歴史と発達	人間を基準にしたデザイン、工学としての歴史を学ぶ。
第3回	人間の特性（人体寸法、基本データ）	人間にかかわる各種データを知る。
第4回	人間の特性（姿勢、動作）	静的人体寸法、動的人体寸法の基本を学ぶ。
第5回	人間の特性（行動特性）	環境や空間における、人の行動の特性を学ぶ。
第6回	人間の特性（感覚、距離感）	人と人の関係における、感覚や行動の特性を学ぶ。
第7回	人間の特性（知覚、認知）	人の五感、特に視覚、聴覚の特性と空間のあり方を学ぶ。
第8回	マンマシンインターフェイス	人間と、モノや環境との関係をつくるメカニズムを知る。
第9回	ヒューマンエラー	人間と、モノや環境との関係の中で起こるエラーについて学ぶ。
第10回	ユニバーサルデザイン	人間から考えるデザイン展開の考え方として、ユニバーサルデザインからのアプローチを学ぶ。
第11回	生活環境への展開（安全性）	人間工学の応用展開として、住環境を中心に安全設計を学ぶ。
第12回	生活環境への展開（快適性・使いやすさ）	人間工学の応用展開として、快適性や使いやすさを考えたデザインを学ぶ。
第13回	モノづくりへの展開（椅子）	人間工学を応用展開した椅子やデスクの設計を知る。
第14回	モノづくりへの展開（空間、製品）	人間工学を用いてプロダクトされた、ユニバーサルデザイン製品を知る。
第15回	実空間での体験学習（時期は、前後するものとする）	実際の住宅空間や設備を体験できる「積水ハウス総合住宅研究所」で、人間工学からのモノづくりを体験し、考える。

#### 担当者から一言

授業中にノートをとることが必須です。プリントとノートを一つのバインダーに綴じることを勧めます。

講義名	人間工学実習						担当教員	森下 あおい / 宮本 雅子
講義コード	1402520	単位数	1	開講期	前期	授業種別	実習	
ナンバリング番号	333LVD301							

#### 授業概要

生活に関わるデザインの多くは、人体のサイズや形態を基準に設計されている。この授業では体形把握のために必要な人体計測法と、その基準となる人体各部の計測点を、実際の計測を通じて学ぶとともに、服飾、道具、住居分野のデザインを行う際に必要とする体形特徴や、動作や姿勢によって生じる体形の変化などと関係する設計条件を実験によって把握する。また計測値をデザインに活用するための統計手法を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) デザインに必要な人体形態の理解
- (2) 衣服型紙と人体寸法の関係の理解
- (3) 計測値の統計処理法の習得
- (4) 人間とモノとの関係について分析する能力の習得

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標の(1)デザインに必要な人体形態の理解、については、レポート30%、(2)衣服型紙と人体寸法の関係の理解、については、レポート10%、(3)計測値の統計処理法の習得については、レポート10%、(4)人間とモノとの関係について分析する能力の習得、については、レポート50%で評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。  
実習課題ごとにレポートが課せられる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：配布資料によって授業を行います

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	人間文化論 A						担当教員	藤木 庸介 / Borjigin Burensain / 木村 裕 / 中井 均 / 今井 絵理
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102							

#### 授業概要

人間文化学部は、地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科の5学科から成っている。しかしそれぞれの学科は特定の分野の中に閉じ込められているわけではない。では、それぞれの学科は外の分野に向かってどのように開かれているのだろうか、それを考える手がかりとして、この講義では異なる学科に属する10組の教員どうしの対談と、各学科の教員による5つのレクチャーが行われる。これから4年間を過ごす学部で、どのように学問の関心を広げ、他学科の教員や学生と交流を開いていけばよいのか、この講義からそのことを考えるヒントをつかんでほしい。

#### 到達目標

- (1)人間の文化に関する知識を幅広く身につけ、理解できる。
- (2)学問領域を越えて、多様なできごとに興味と関心を持つ態度を持つことができる。
- (3)自分の領域で直面している問題に対して、他領域の人々とディスカッションを行い、柔軟な思考と判断を行うことができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終レポート課題（学生による学科間ディスカッションによるもの）
上記以外	50	各対談時のレスポンスペーパー

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	人間文化論B						担当教員	亀井 若菜 / 東 幸代 / 吉村 淳一 / 横田 祥子 / 谷口 真紀
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103							

#### 授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」  
文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

#### 到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	ミニレポートもしくは小テストに対する採点
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	人間文化論 C						担当教員	宮本 雅子 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 遠藤 弘史 / 横田 尚美 / 未定 *
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203							

#### 授業概要

人間文化論Cでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題について考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系3学科(生活デザイン・生活栄養・人間関係)教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。  
この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について5回講義する(宮本・横田)。次に、現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点をとりあげながら、健康を維持・増進するための食生活について5回講義する(生活栄養学科教員)。さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになるとしているかという現代家族論を5回講義する(松嶋・中村)。

#### 到達目標

(宮本・横田)(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす人体を含む環境への影響に関心を持つことができる。  
(生活栄養学科教員) 現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を踏まえ、健康を維持・増進するための食生活について理解することができる。  
(松嶋・中村)(1)家族をみるための視点を身につけることができる。(2)現代的社会問題を家族との関連で理解することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	(宮本・横田)到達目標の(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること、(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす環境への影響に関心を持つことができる、については、課題レポート(33%:(1)19%、(2)14%)

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。  
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	比較衣装論						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402630	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133FSD161							

#### 授業概要

衣食住の中の衣は、生活デザインを構成する重要な要素である。文明が生まれてから今日までの服飾文化を時代ごとに比較しながら論じることで、それぞれの時代の服飾の必然を知る。そのことが現在を理解する鍵となり、未来を考えるヒントになる。時代時代の歴史やデザインとともに論じるので、デザインのインスピレーション源にもなる。服飾を通じて、生活デザイン全般や世界の歴史を理解する一助とする。

#### 到達目標

- (1) 歴史の流れを把握できる。
- (2) 服飾の変化を歴史の中に意味づけられる。
- (3) 服飾の変化のポイントが理解できる。
- (4) 時代ごとの他のデザイン分野との関わりが理解できる。
- (5) 各回ごとのポイントが理解できる。
- (6) 現在や未来の社会の動きに関心を持つことができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	92	(1)～(4)について、授業内容の理解度を定期試験で計る。それぞれ23%とする。
レポート課題		
上記以外	8	(5)については、リアクションペーパーで評価する。各回の内容を理解しているか、授業に積極的かを評価する。

3分の1以上を特段の理由なく欠席した場合は、評価の対象としない。定期試験の結果とリアクションペーパーの内容に基づいて、100点満点中60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

講義の終わりに、次回の内容に関する質問を出し、それについて次回までに考えをまとめてくるように指示する場合がある。毎回、様々な展覧会などを紹介するので、自主的かつ積極的に足を運ぶことが望ましい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー版世界服飾史	深井晃子	美術出版社	978-4-568-40077-9
2	20世紀からのファッション史	横田尚美	原書房	978-4-562-04773-4
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

高校の社会科の教科書や資料集などを持っていけば、参考にしてほしい。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	比較道具論						担当教員	面矢 慎介
講義コード	1402680	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133TLD141							

#### 授業概要

比較文化の視点から道具を考察する基本的視点の解説。個別的文化をこえて生活道具の多様性を理解するため、世界各地の生活用具をとりあげて日本の生活用具と比較し、その相違をもたらした文化的・技術的背景について考察する。日本および世界各地の伝統的道具ばかりでなく、近代化以降の道具、大量生産による現代製品についても取り上げる。比較の対象領域としては、わが国の近代化以前の道具文化との関連の深い朝鮮半島、および近代化以後の主要な文化移入元のひとつであった英国、第二次世界大戦後の工業製品において日本に強い影響をもたらした米国などを中心とする。

#### 到達目標

生活文化と道具デザインの密接な関係についての認識を深める。(1) 授業内容を理解し要点をまとめられる。(2) 授業内容に対して自分の意見や感想を述べる事ができる。(3) 授業に関係する文献を読み、内容をまとめ、考察を加えることができる。(4) 1つの道具について自分で調べ、その結果を文章にまとめることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	期末レポート
上記以外	40	コメントカード(15%)と小レポート(3本、計25%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。

#### 授業外学習

毎回の授業終了時にコメントカードを回収

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	道具学への招待	道具学叢書委員会	ラトルズ	978-4-89944-185-2
2	おまるから始まる道具学	村瀬春樹	平凡社新書	
3				

授業中にプリント配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	服飾文化論						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402780	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233FSD265							

#### 授業概要

服飾文化について、服飾文化史、社会と服飾産業という観点から紹介する。  
現在のファッションの原点を知る。  
ファッションとは異なる服飾文化の側面に気付かせる。  
特に第2次世界大戦後については、ファッションビジネスの変化についても注目する。  
時代時代の歴史やデザインとともに論じるので、デザインのインスピレーション源ともなる。

#### 到達目標

- (1) 20世紀から現在に至る歴史の流れを把握できる。
- (2) ファッションの変化を歴史の中に意味づけられる。
- (3) 20世紀初めから現在のファッションに至る過程が、社会の変化とともに理解できる。
- (4) 時代ごとの他のデザイン分野との関わりが理解できる。
- (5) 各回ごとのポイントが理解できる。
- (6) 現在とこれからの社会や文化の変化に関心が持てるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	92	(1)～(4)について、授業内容の理解度を定期試験で計る。 複合的な内容の試験によって、理解度を計る。
レポート課題		
上記以外	8	(5)については、リアクションペーパーで評価する。 各回の内容を理解しているか、授業に積極的かを評価する。

3分の1以上を特段の理由なく欠席した場合は、評価の対象としない。  
定期試験の結果とリアクションペーパーの内容に基づいて、100点満点中60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

講義の終わりに、次回の内容に関する質問を出し、それについて次回までに考えをまとめてくるように指示することがある。  
毎回、様々な展覧会を紹介するので、自主的かつ積極的に足を運んでほしい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー版世界服飾史	深井晃子	美術出版社	978-4-568-40077-9
2	20世紀からのファッション史	横田尚美	原書房	978-4-562-04773-4
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

高校の社会科の教科書や資料集などを持っていけば、参考にしてほしい。

#### 前提学力等

比較衣装論を受講していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	服飾心理学						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402800	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333FSD262							

#### 授業概要

様々な服飾、服飾に関わる人間の行為などを通して、服飾と人間の関係について考える。  
服飾、またはファッションが人間の心理に与える影響を自覚し、社会を理解する一助とする。

#### 到達目標

- (1) それぞれのテーマに問題意識を持つことができる。  
(2) 服飾が持つ心理的力を客観的かつ総合的に分析し、理解することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	冬休みと期末に、レポート課題を課す。 (2) についてと、レポートの書き方について評価する。
上記以外	10	(1) については、リアクションペーパーによって計る。

3分の1以上を特段の理由なく欠席した場合は、評価の対象としない。  
レポートとリアクションペーパーの内容に基づいて、100点満点中60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

授業の内容について具体的なテーマを与え、事前に考えてくるように指示することがある。  
毎回、様々な展覧会を紹介するので、自主的かつ積極的に足を運んでほしい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ファッションを考える	横田尚美	丸善出版	4-621-07250-1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業に使用する資料を持参してもらうことがある。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	服飾造形論						担当教員	森下 あおい
講義コード	1402830	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	333FSD261							

#### 授業概要

衣服は体形を基にデザインに応じたパターンが服種やディテールにおいて様々に設計される。この授業では衣服設計に必要な衣服型紙の基本形、型紙の展開、パターン構造や作成方法について理解する。各回では、身頃、衿、袖、スカート、パンツの形状や、主要なシルエットとデザインとの関係を説明する。特に基本的な型紙の形状と展開方法は、演習形式で学びながら、衣服の立体性を把握する。

#### 到達目標

- (1) 人体と衣服パターン形状の相互関係の理解
- (2) デザインに対するパターン展開の理解

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	デザインとパターンについての情報を収集してまとめる
上記以外	80	各回で学ぶパターン作成理論を実践的に理解しているか、ふりかえりテストにて確認する

授業の3分の1以上欠席したものは評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に参考プリントを配布します

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	服飾デザイン演習						担当教員	森下 あおい
講義コード	1402860	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233FSD264							

#### 授業概要

この授業では、体形と衣服の形態、ゆとり量の関係を、衣服パターンの各部位の形状から理解する。作品制作によって、服種とデザインに合わせた素材の選択、印つけ、裁断方法を把握し、さらに基本的な縫製技術を習得する。全体を通して順序だててものづくりの流れを理解する。また着用状態を観察し評価の視点を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 体形に対する衣服のゆとりと立体化について理解する
- (2) パターン理論と縫製技術を習得する
- (3) 着用評価の視点を学ぶ

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	パターン作図、裁断、縫製方法を理解しているか。
上記以外	80	課題を適切な方法で時間内に制作できているか。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。また毎回の説明を行いながら進める為、遅刻をすると内容が把握し難くなる。

#### 授業外学習

課題については、授業外で準備をすることや宿題によって進める必要がある。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化ファッション大系 服飾造形講座3 ブラウス・ワンピース	文化服装学院編	文化出版局	4-579-10839-6
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	服飾デザイン演習						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402870	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233FSD361							

#### 授業概要

服飾が、それぞれの時代の中でのどのような生活デザインの中で身につけられているかを、映画や文学のストーリーの中で理解することで、服飾デザインの発想に活かすための演習を行う。  
 現存する衣装、当時のファッション雑誌などの一次資料も活かしながら、調査し、発表する。  
 服飾文化についてのレポート課題により、論理的に考察する力とルール通りにレポートを作成する力を養う。  
 基礎服飾デザインに続き、ジャケットやワンピースの解体を通して、さらに服の構造を理解する。  
 最後に、課題の製作物や論文について発表し、批評し合う。

#### 到達目標

- (1) 原作が楽しめ、理解できる。
- (2) 原作に登場する生活デザインなどの文化を窓口に、視野を広げることができる。
- (3) 原作に登場する服飾について関心を持ち、生活デザイン全体の中で理解できる。
- (4) 原作について、分析的なレポートがルールに則って作成できる。
- (5) 3つのアイテムの構造などが理解できる。
- (6) 時代背景とその時代の服飾デザインを理解し、応用して服飾デザインなどを発想したり、研究課題を考えて研究したりすることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	(4)について、内容(15%)、書き方(15%)で評価する。
上記以外	70	(1)~(3)、(5)については、授業態度や発表の内容、リアクションペーパーで評価する。(20%) 発表会の課題で評価する。(50%)

#### 授業外学習

9回から13回については、分担した部分の服飾を含む様々な歴史や文化について、グループワークと各自の活動によって調査を行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回に決定した文学作品を購入する。文庫本の予定である。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で適宜、紹介する。

#### 前提学力等

比較衣装論、服飾文化論、服飾デザイン演習 を受講していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	服飾デザイン演習						担当教員	森下 あおい / 法月 紀江
講義コード	1402880	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	333FSD362							

#### 授業概要

この授業では、テーマに応じたコンセプトと、自らのデザインの世界観を服飾として具体的に表現する力を養う。そのために、まず発想源を引き出すためのリサーチを文献資料、素材の収集、見学やヒアリングを通じて行い、アイデアの展開の仕方を学ぶ。そして実物制作を進めるうえで、デザインと作図、素材の関係やディテールの役割を理解し、服飾として全体をまとめる力を習得する。またプレゼンテーションのためのポスター制作も行う。

#### 到達目標

- (1) テーマに対するリサーチとアイデアの展開力
- (2) デザインと素材の関係を把握する力。
- (3) コンセプトを作品として明確にまとめる力。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	テーマに対するリサーチとアイデアをレポートにまとめる。
上記以外	80	コンセプトに基づいて、形態、素材、色彩の関係を、明確にまとめているか、作品にて評価する

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布します。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	服飾デザイン論						担当教員	森下 あおい
講義コード	1402900	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	233FSD263							

#### 授業概要

服飾デザインは、社会生活を背景に、着用目的に応じた機能性と審美性を技術や芸術・文化を総合して表現する。この授業では、デザインを行うために必要な人体と衣服形態の基礎知識を学び、現代のライフスタイルの中での服飾製品の生産、消費、における課題を、グループワークを行いながら養う。さらに実践的な力を身につけるために、デザインのアイデアの抽出方法やテーマの展開、表現技法についてを学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 服飾デザインに関わる多面的要素を理解する
- (2) 服飾デザインの課題を考察する
- (3) 服飾デザインのリサーチからアイデア展開、表現の流れを理解する

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	テーマに対する調査資料を収集し、自らの意見が述べられるか。
上記以外	40	服飾の多面性と構成要素を理解し、意見交換ができるか。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布します

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	プレゼンテーション技法						担当教員	印南 比呂志 / 南 政宏
講義コード	1402910	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD203							

#### 授業概要

デザイン、建築、映画、アートなどさまざまな表現手法について、それらの専門分野毎に制作作業のプロセスや、基本的技術、考え方などを講義する。グラフィック分野の編集工学として、タイポグラフィ、写真、印刷、造本、映像、DTP、WEBなどの分野の表現技術について学ぶ。また立体表現手法については、スタディモデルから、プロトタイプモデルまでの制作過程を実際にも実演しながら説明していく。生活デザイン学科以外でもプレゼンテーション技術について役立つ講義内容もある。講義テーマによっては現場で活躍する専門家を外部講師として招聘する。演習授業ではなく、講義形式の授業ではあるが、常に実践事例をもとに講義をすすめていく。

#### 到達目標

映像やグラフィック、模型の表現におけるリテラシーと技術について、基礎的な知識を身につける。前半は表現技術の歴史や作品性を中心に講義を進める。後半は実践的な技術を身につけるための講義を行う。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	なし。
レポート課題	60	毎回の授業において、授業の終了前にレポートを提出させる。
上記以外	40	簡単なプレゼンを宿題として課す。

5分の1(3回)を超えて欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

毎回の授業テーマを確認して作家の業績を書籍やウェブサイトで検索して確認しておくこと。そして、毎回提示された作品を再閲覧、確認すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

特になし

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	日常にひそむ数理曲線	佐藤雅彦 + ユーフラテス	小学館	978-4-09-480310-5
2	明和電機魚器図鑑	土佐正道 土佐信道	NTT出版株式会社	4-87188-533-XC0076
3	眼の狩人	大竹昭子	新潮社	4-10-602401-2

映像DVDについて、授業で上映できないものがあるため、個人で閲覧を勧めるものがある。

#### 前提学力等

ものごとをわかりやすく説明できる力があれば良い。

#### 履修資格



講義名	マーケティングリサーチ演習						担当教員	山田 歩
講義コード	1402999	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	233MKD381							

#### 授業概要

企業やブランドは私たち生活者と様々な方法でつながろうとしています。心に残るCMや、フォローしたくなるアカウント、また、思わず開封したくなるダイレクトメールは、どのような切り口をもとに作られているのでしょうか。企業やブランドと生活者の間で交わされるコミュニケーションをマーケティング・コミュニケーションと呼びますが、効果的にコミュニケーションを行うためには、生活者を深く理解し、生活者とブランドとの接点を発見し、それらを適切にコミュニケーションに落とし込む必要があります。この演習では、生活者理解と生活者とブランドとの接点を発見するためのリサーチを学びます。リサーチを企画・実施することを通して、生活者とブランドとの接点がどのようになされているかについて理解を深めます。

#### 到達目標

マーケティングリサーチの考え方と手法を理解したか。また、それを応用できるか。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	課題を適切に捉えているか。 発想にオリジナリティがあるか。 わかやすく、また、ロジカルに考えを表現できているか。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	マーケティング論						担当教員	山田 歩
講義コード	1403000	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133MKD181,335LAH307							

#### 授業概要

どんなに優れた機能の製品でも、どんなに優れたデザインの製品でも、消費者に受け入れられヒットするとは限りません。ある製品が価値あるものとして消費者に受け入れられるためには、どんな製品を出すかを考えるだけでなく、どんな消費者を対象にするのかや、どんな価格で、また、どんな場所、広告を用いて売ればいいのかといったことまで考える必要があります。そして、商品としてヒットしたあとも、継続的にその商品が売れるように、消費者との持続的な関係を構築し、製品・サービスの価値を高める努力を続ける必要があります。この授業では、こうした企業のマーケティング活動を学ぶことを通して、ビジネスに必要な分析能力や問題解決能力を身につけることを目標とします。

#### 到達目標

企業のマーケティング活動を学ぶことを通して、ビジネスに必要な分析能力や問題解決能力を身につけることを目標とします。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	マーケティングの考え方を理解できたか
レポート課題	50	宣伝会議賞(25) 授業課題(25)
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	1からのマーケティング 第3版	石井淳蔵・廣田章光	碩学舎	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	生活工学（情報処理を含む）						担当教員	堀江 健二郎
講義コード	1600471	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD20							

#### 授業概要

家庭には多種・多様な電化製品が使用されています。また、自家用車をはじめとする機械製品も生活にはなくてはならないものとなっています。電気の分野においては、オール電化やIH調理機器などの技術開発やソーラー発電などによる省エネルギー開発が進んでいます。機械の分野においてもハイブリッド車や電気自動車さらには電動アシスト自転車等環境への配慮および生活を便利に、より快適にする製品が生活の中に入り込んでいます。さらには、スマートフォンやタブレット端末の普及により情報化社会も急速に進化しています。このような、IoTをはじめとする生活を便利にする機器や製品の基礎知識を習得し、安全に正しい使用法を学ぶとともに、電機・機械・情報の各分野の基礎的知識と技術を学びます。

#### 到達目標

- (1) 家庭生活で使用されている機械や電気機器の構造、原理を学ぶ
- (2) 環境や安全に配慮した生活機器の活用方法
- (3) 情報化社会における機器の活用

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	実施する。
レポート課題	40	適宜、課題レポートを作成し提出する。
上記以外	20	グループワーク、発表。

課題レポートの未提出者は、評価対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて、授業開始前あるいは、事前に講義資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	食物学（調理実習を含む）						担当教員	福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 小澤 恵子
講義コード	1600800	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	133LVD205							

#### 授業概要

飽食の時代を生きる私たちが、健康的で充実した食生活を楽しむためには何を知らなければならないのか、食品学、栄養学の視点を中心に考えていく。得られた知識をもとに、豊かな食生活をいかにして営むかを調理実習を通して実践する能力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 食品の栄養機能，成分特性，加工特性に関する知識を身につけ，理解する。
- (2) 栄養素の種類，特徴，役割および健康維持のための摂取量に関する知識を身につけ，理解する。
- (3) 食品の衛生管理に関する知識，考え方を身につけ，理解する。
- (4) 調理実習を通し，基本的な調理操作について理解し，技術を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	75	到達目標(1)～(3)についてレポート課題を課す(50%)。 調理実習レポート5回×5%
上記以外	25	調理実習の参加状況5回×5%

- ・3分の1以上欠席した場合は，評価の対象としない
- ・調理実習は2回以上の欠席の場合は評価対象とならない。

#### 授業外学習

- ・調理実習の際には，あらかじめ実習手順の確認をしてから実習に参加のこと。
- ・調理実習時の衛生管理を順守できない場合は実習に参加できない。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	映像で学ぶ 調理の基礎とサイエンス	松崎・藤井・寺本	学際企画	978-4-906514-86-1
2	栄養素でわかる食品と健康	柴田克己・木戸康博	培風館	978-4-563-07365-7
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	食物学（調理実習を含む）							担当教員	福渡 努 / 廣瀬 潤子 / 佐野 光枝 / 小澤 恵子
講義コード	1600800	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD205								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	食品の分類と食品成分表	食品の種類と分類、食品成分表について概説する。
第2回	食品に含まれる栄養素（水分・たんぱく質）	水分とたんぱく質の特徴、化学的性質、加工特性について理解する。
第3回	食品に含まれる栄養素（脂質）	脂質の特徴、化学的性質、加工特性について理解する。
第4回	食品に含まれる栄養素（炭水化物・その他）	炭水化物、その他栄養素の特徴、化学的性質、加工特性について理解する。
第5回	炭水化物、脂質の役割	たんぱく質、炭水化物、脂質の種類、特徴、機能について理解する。
第6回	たんぱく質の役割	たんぱく質の種類、特徴、機能について理解する。
第7回	ビタミン、ミネラルの役割	ビタミン、ミネラルの種類、特徴、機能について理解する。
第8回	食事摂取基準	日本人の食事摂取基準および健康を維持するために摂取したい栄養素量について理解する。
第9回	食品の変質とその防止	微生物による変質・変敗、化学的変質、変質の防止法について理解する。
第10回	食品衛生をめぐる諸問題と食品表示	食品中の残留物質、遺伝子組み換え食品、食品表示について理解する。
第11回	調理実習 オリエンテーション	実習に際しての注意事項、衛生管理方法
第12回	調理実習 食材の取り扱い（野菜、果物）	食材の下処理・切り方
第13回	調理実習 食材の取り扱い（卵）	卵の調理性（加熱凝固・乳化）
第14回	調理実習 日本料理（1）（炊飯）	飯の炊き方
第15回	調理実習 日本料理（1）（だし）	だしのとり方
第16回	調理実習 日本料理（1）（炒め・煮物調理）	炒め調理、煮物調理
第17回	調理実習 日本料理（2）（乾物の取り扱い）	乾物の取り扱い
第18回	調理実習 日本料理（2）（蒸し調理）	茶わん蒸し（鶏卵の調理）
第19回	調理実習 日本料理（2）（魚の取り扱い）	魚のさばき方
第20回	調理実習 西洋料理（オープン加熱調理）	加熱操作（オープンと蒸し器調理）
第21回	調理実習 西洋料理（ゲル化）	ゲル化（コーンスターチによるゲル化）
第22回	調理実習 西洋料理（テーブルマナー）	西洋料理のテーブルマナー
第23回	調理実習 中華料理（獣肉の取り扱い）	獣肉の取り扱い、切り方
第24回	調理実習 中華料理（スープの調味パーセント）	汁物の調味
第25回	調理実習 中華料理（揚げ調理）	揚げ操作

#### 担当者から一言

調理実習の際には、調理専用白衣、調理用帽子が必要となる（別途指示）。